

2004年9月期決算説明会 新中期計画説明会

2004.11.24

日本板硝子株式会社

本日の内容

1. 今決算のポイント

執行役員 経理部長

小柴 博義

2. 上期実績と下期見通し

取締役 専務執行役員

仁田 昌邦

3. 新中期経営計画「CCP300」について

代表取締役 社長執行役員 藤本 勝司

2004年9月期決算説明会

今決算のポイント

2004.11.24

日本板硝子株式会社

連結損益計算書



(単位:10億円)	平成15年 9月期	平成16年 9月期	前期比
売上高	132.0	129.7	98.2%
売上総利益	31.6	35.1	111.1%
(売上総利益率)	23.9%	27.0%	113.1%
経費等	29.4	29.8	101.2%
営業利益	2.2	5.3	243.0%
(営業利益率)	1.7%	4.1%	247.4%
営業外損益	-2.2	0.5	-23.4%
経常利益	0.0	5.8	-
(経常利益率)	0.0%	4.5%	-
特別損益	3.5	0.6	16.6%
税引前当期利益	3.5	6.4	184.5%
税引後当期利益	0.4	3.9	-
(当期利益率)	0.3%	3.0%	-

売上総利益

ガラス磁気ディスクなど、不採算部門の
リストラとSLA、液晶基板ガラスなど
成長製品の増加。

営業外利益

持分法投資利益改善(+2.2億円)。
営業外損失、営業外利益とも減少。
支払利息減少(7億円)。

連結貸借対照表



(単位:10億円)	平成16年 3月期	平成16年 9月期	前期比
流動資産	165.8	167.9	101.3%
（うち、現預金）	(56.0)	(61.8)	110.4%
固定資産	276.4	262.4	94.9%
総資産	442.2	430.4	97.3%
負債	235.7	225.5	95.7%
（うち、有利子負債）	(134.1)	(129.2)	96.3%
少数株主持分	5.9	2.9	49.0%
資本	200.6	202.0	100.7%
資本金	41.1	41.1	99.9%
剰余金	141.0	143.4	101.7%
その他	18.5	17.6	94.8%
総資産	442.2	430.4	97.3%

イソライト工業の非連結化の影響
(約60億円)

社債発行(+230億円)、
社債償還(198億円)、
借入金減少(80億)。
イソライトの非連結化の影響大。
(約70億円)

D/Eレシオは0.64に

連結キャッシュフロー計算書



(単位:10億円)	平成15年 9月期	平成16年 9月期	前期比
営業CF	4.7	7.4	156.6%
投資CF	-2.9	-2.8	95.5%
フリーキャッシュフロー	1.8	4.6	252.4%
財務CF	6.1	0.7	10.7%
期首現預金残	45.8	55.4	120.9%
期末現預金残	52.3	61.1	116.8%

税前利益 64億円
償却費 62億円

固定資産取得 64億円
投資有価証券売却収入 +39億円

社債発行 230億円
社債償還 198億円

(単位:円)

1株あたり配当金	0.0	3.0	-
----------	-----	-----	---

中間配当金を3期ぶりに復活。

2004年9月期決算説明会

上期実績と下期見通し

2004.11.24

日本板硝子株式会社

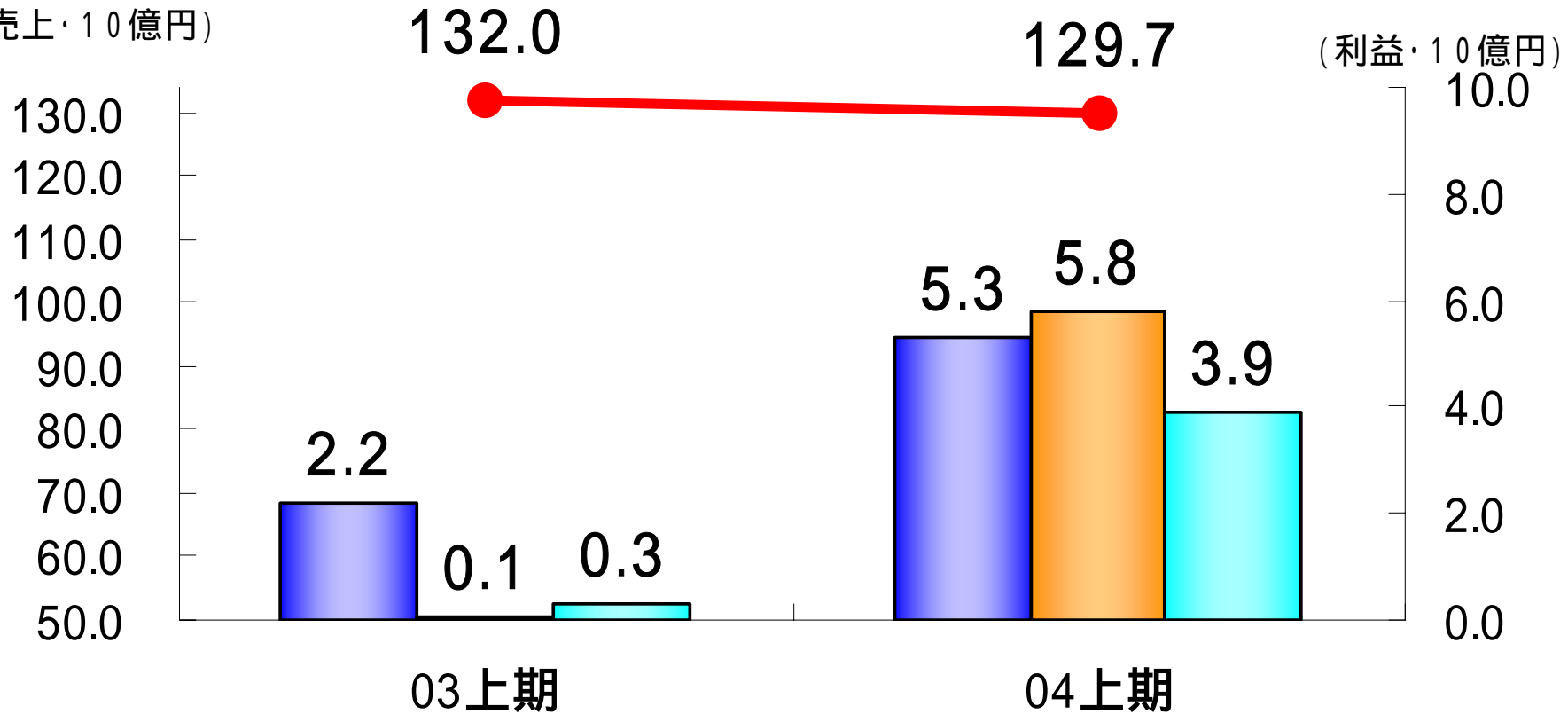
連結損益推移(半期)



■ 営業利益
 ■ 経常利益
 ■ 当期利益
 ● 売上高

(売上・10億円)

(利益・10億円)



板ガラス分野

NSG
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd



建築用ガラス
(硝子建材事業)

建築用ガラス、建材

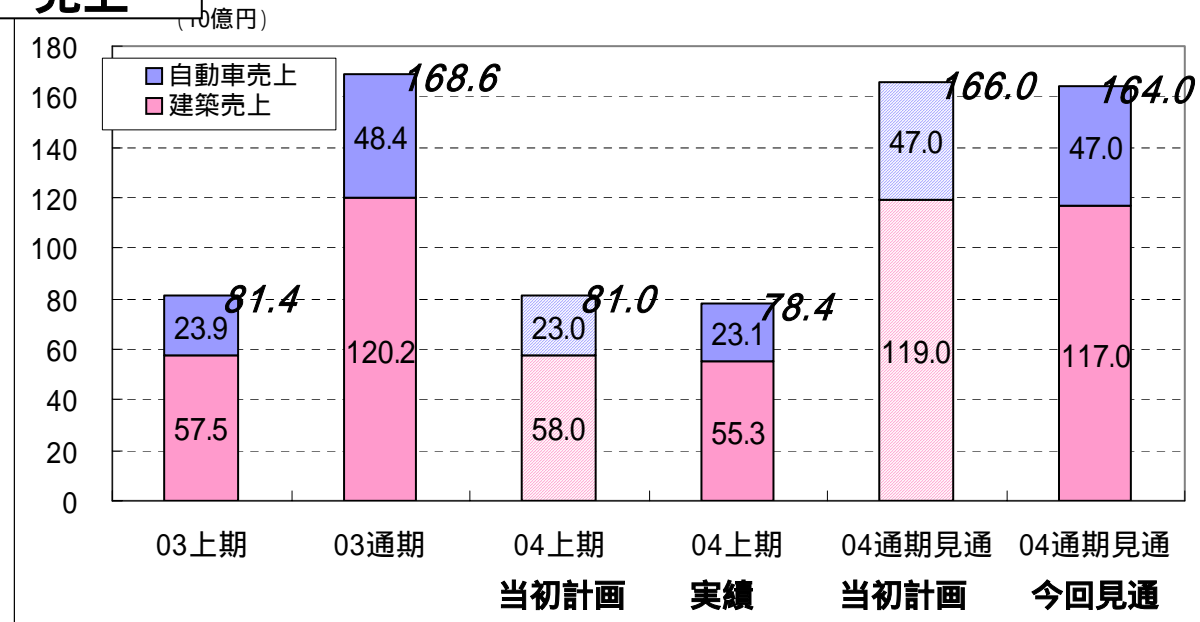
自動車用ガラス
(輸送機材事業)

自動車用ガラス
各種車両用ガラス

< 板ガラス分野 > 売上、営業利益推移



売上



前年同期との差異

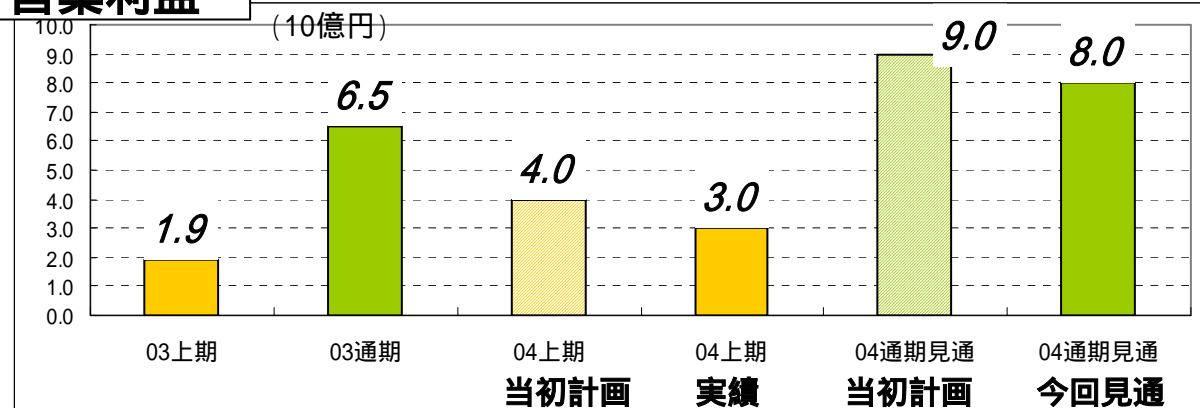
< 売上 >

- ・国内ガラスは堅調。
- ・海外 天津フロートガラス譲渡の影響。(約15億円)

< 利益 >

- ・各種コストダウン、構造変革の成果

営業利益



当初計画との差異

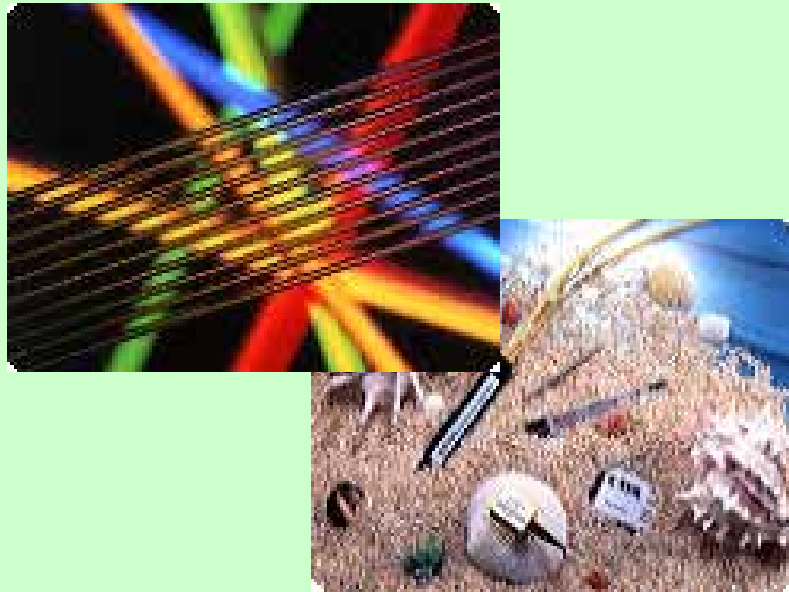
- ・原油価格の影響
原油高騰は下期も継続と見るが、値上分で悪影響を相殺。

情報電子分野

NSG
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd

情報通信デバイス

SLA、SLED、化学強化ガラス他
OA機器用部品
セルフロックマイクロレンズ、
各種通信用デバイスなど

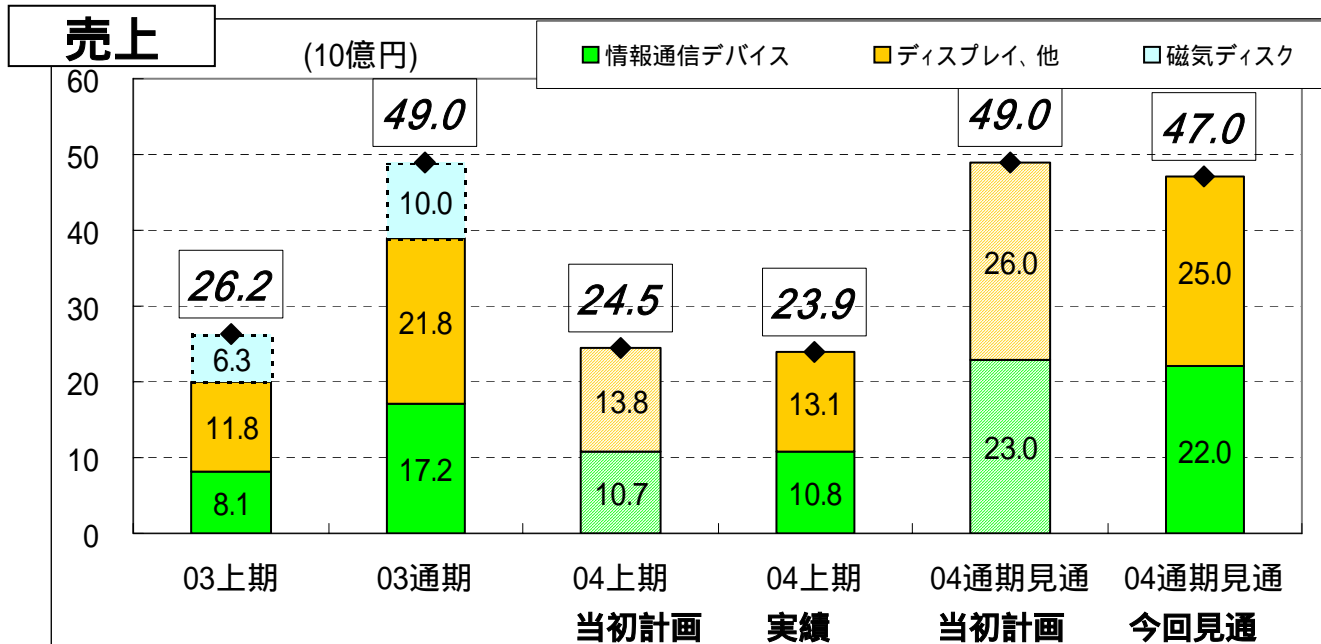


ディスプレイ

液晶用基板、PDP基板など

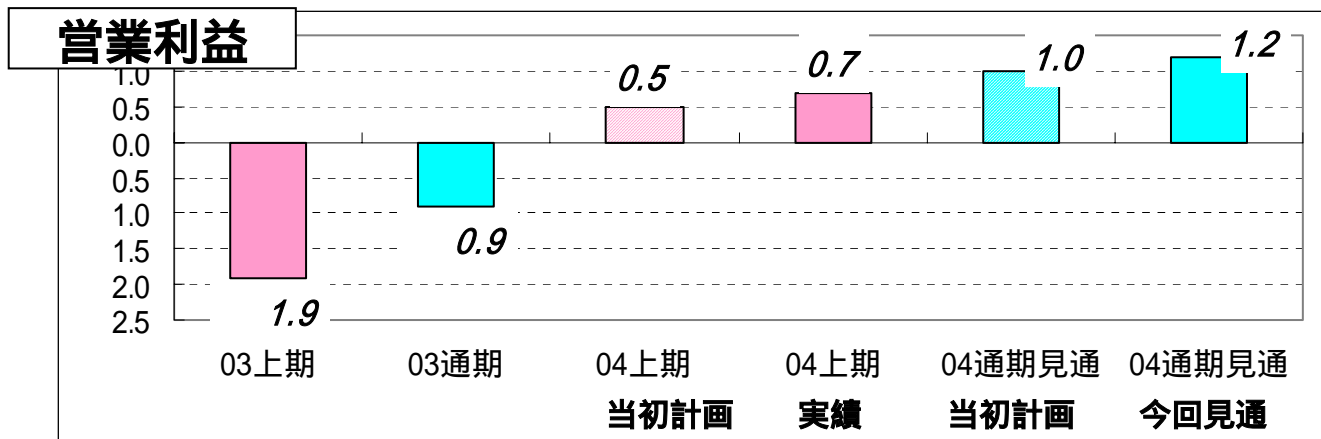


< 情報電子分野 > 売上、営業利益推移



前年同期との差異

- ・磁気ディスク事業譲渡の影響(約63億円)
- ・日本ペルノックス社譲渡の影響(約20億円)
- これらを除くと、大幅な増収。
- ・SLA、液晶ガラスの好調とリストラ効果で黒字転換。



当初計画との差異

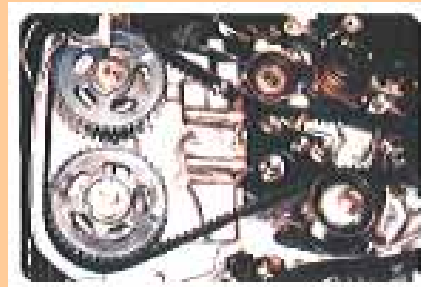
- ・上期利益は計画クリアだが下期は液晶、IT機器分野の今後の不透明感を反映し、当初計画並みと見る。

ガラス繊維分野

NSG
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd

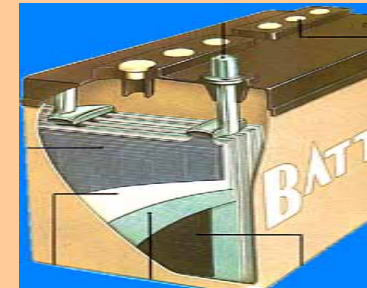
ゴムコード

自動車用タイミングベルト



バッテリーセパレータ

自動車、無停電装置などの鉛蓄電池



ブレーク他

耐食、プラスチック強化材
光輝性顔料素材



フィルター

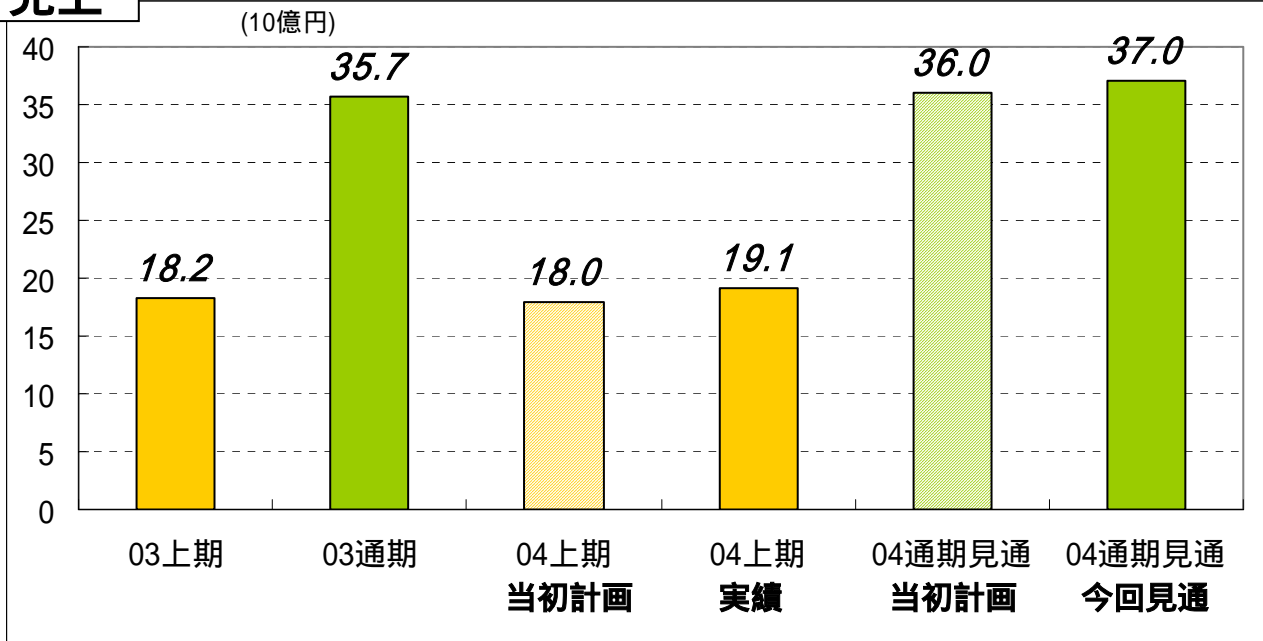
クリーンルーム用など



< ガラス繊維分野 > 売上、営業利益推移



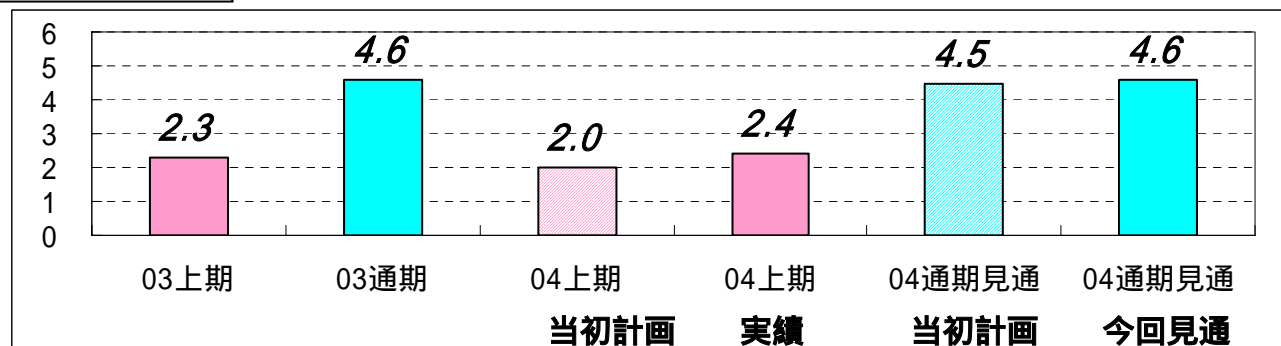
売上



前年同期との差異

・売上は5.2%増、
営業利益は4.7%増と
好調に推移。

営業利益

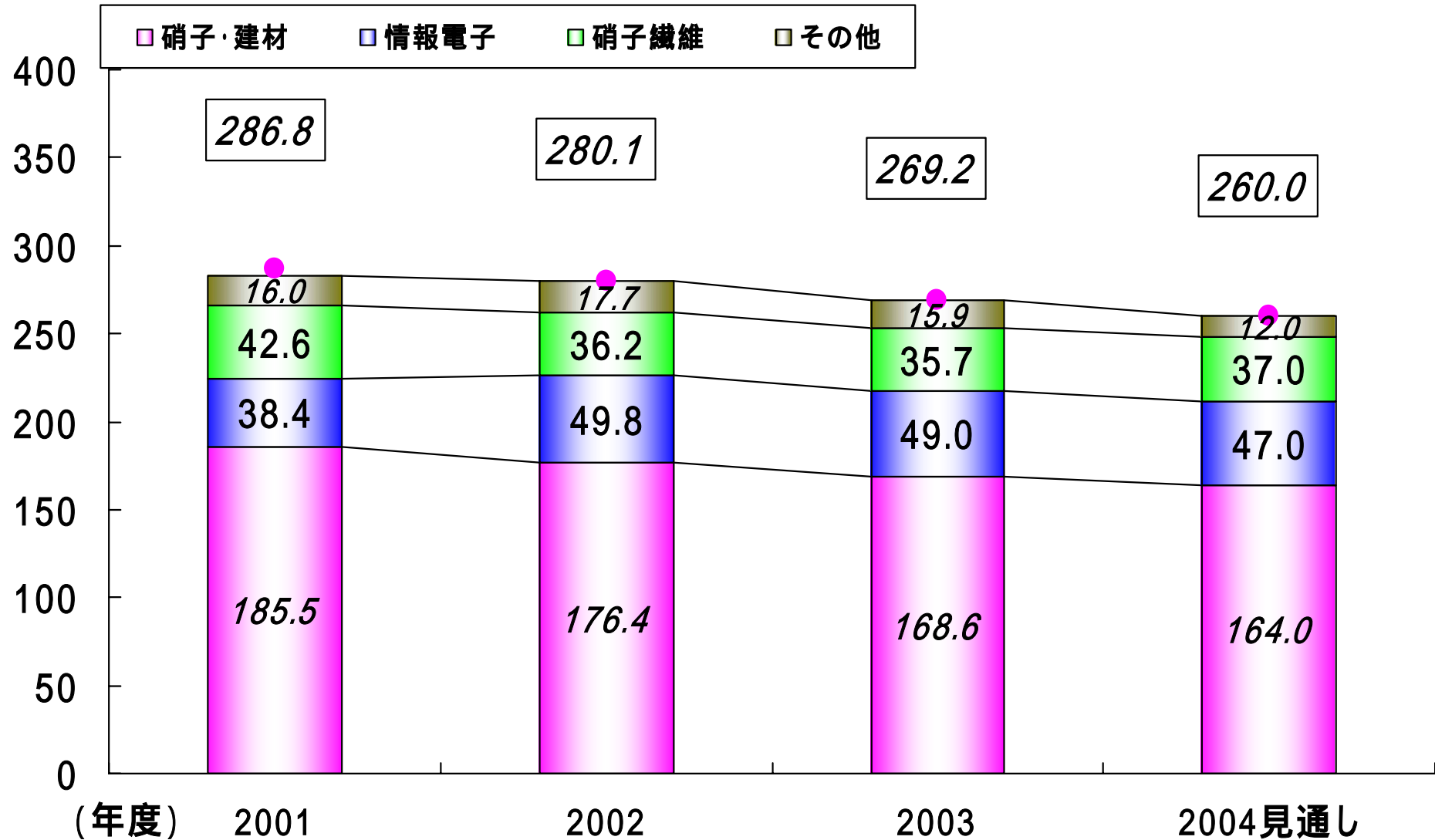


計画との差異

・概ね計画通り。
海外液晶、半導体工場
向けのクリーンルーム用
エアフィルタを中心に好調。

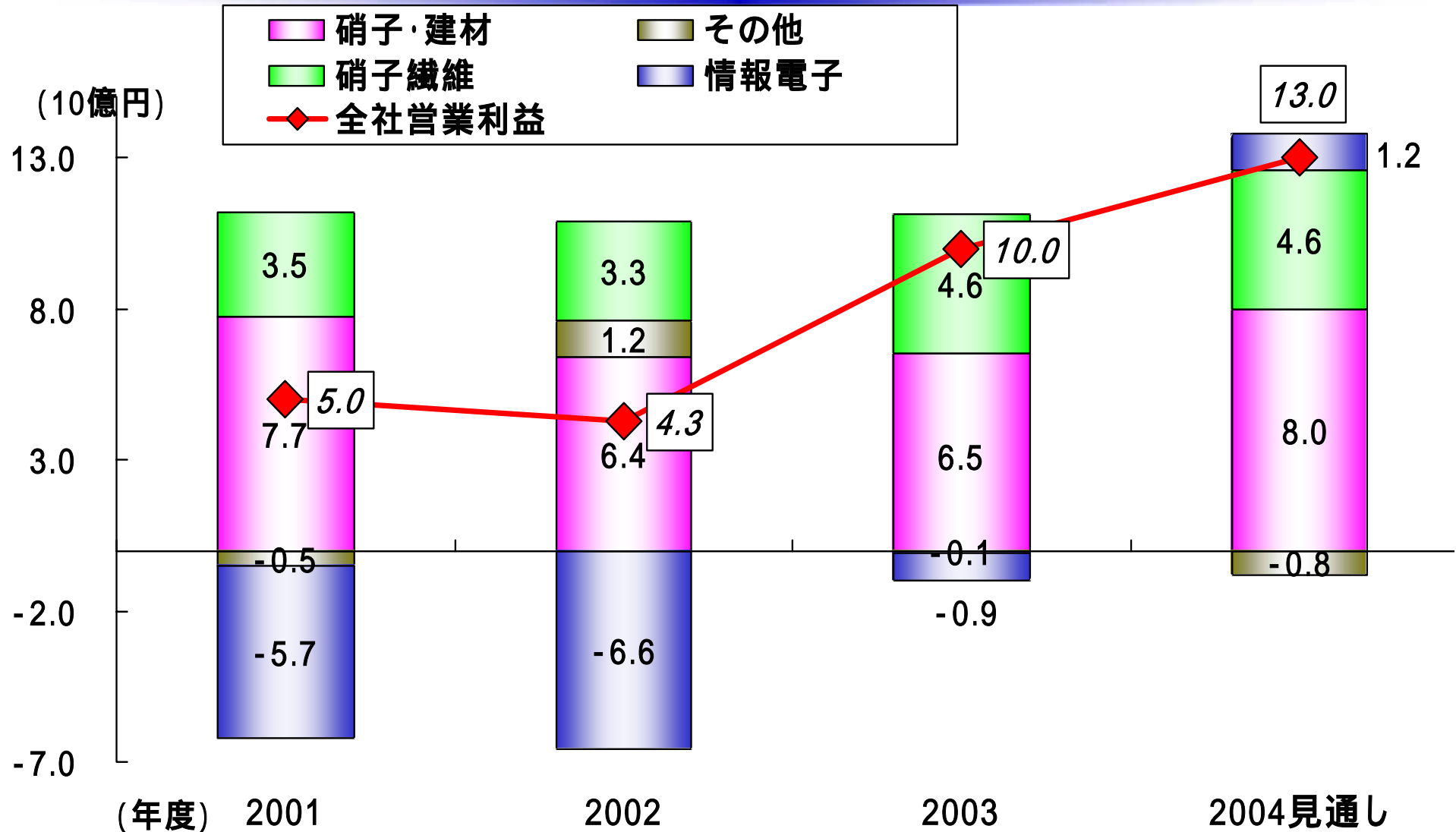
通期 売上高見通し

(10億円)



通期 営業利益見通し

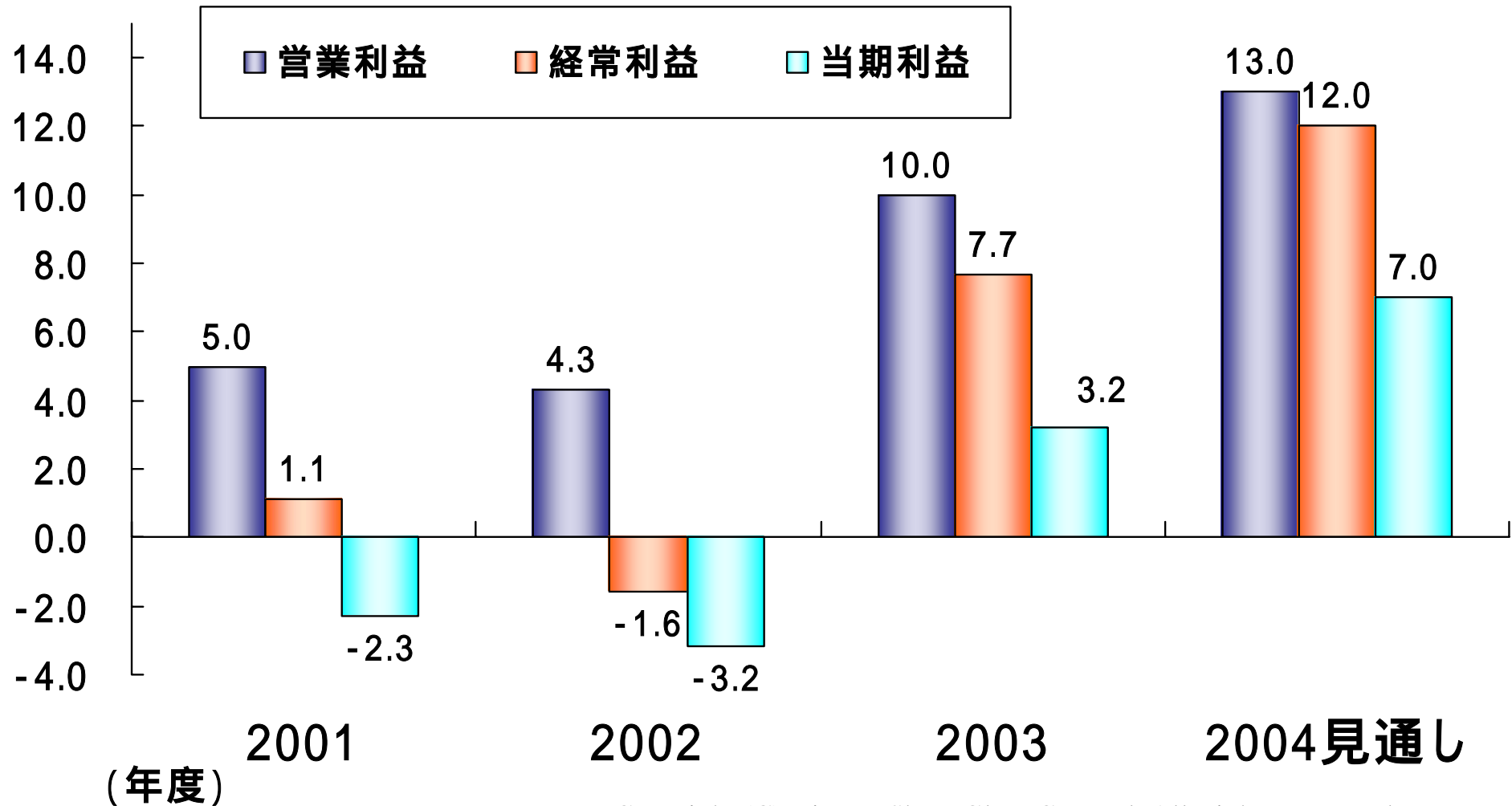
NSG
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd



通期 損益見通し



(10億円)



【参考資料】 前提条件



		2003年度 通期実績	2004年度 上期実績	2004年度 通期見通
為替	(円/US\$)	114	110	110
原油(ドバイCIF)	(US\$/B)	29	34	37
減価償却費	(10億円)	14.9	6.2	13.5
設備投資	(10億円)	12.8	6.1	12.5
研究開発費	(10億円)	7.7	4.0	7.7
フリーキャッシュフロー	(10億円)	26.6	4.6	11.0
有利子負債	(10億円)	134.1	129.2	125.0
人員	(人)	12,612	13,690	-

原油価格の反応度 1ドル/bbl 1.0億円の負担増
 為替の反応度 1円の円高で0.5億円の減益要因

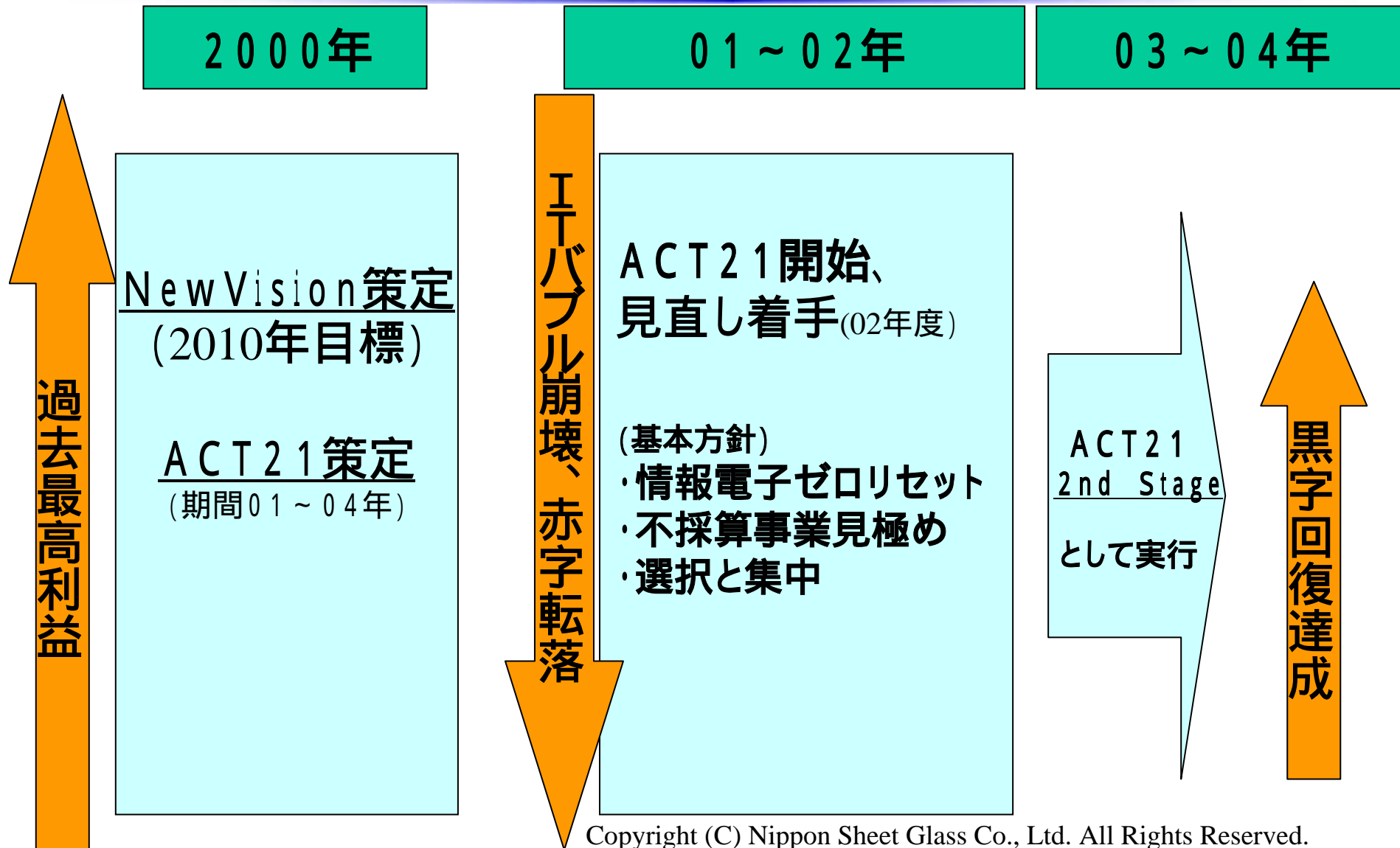
新中期経営計画(2005～2007) 「CCP300」について

日本板硝子株式会社

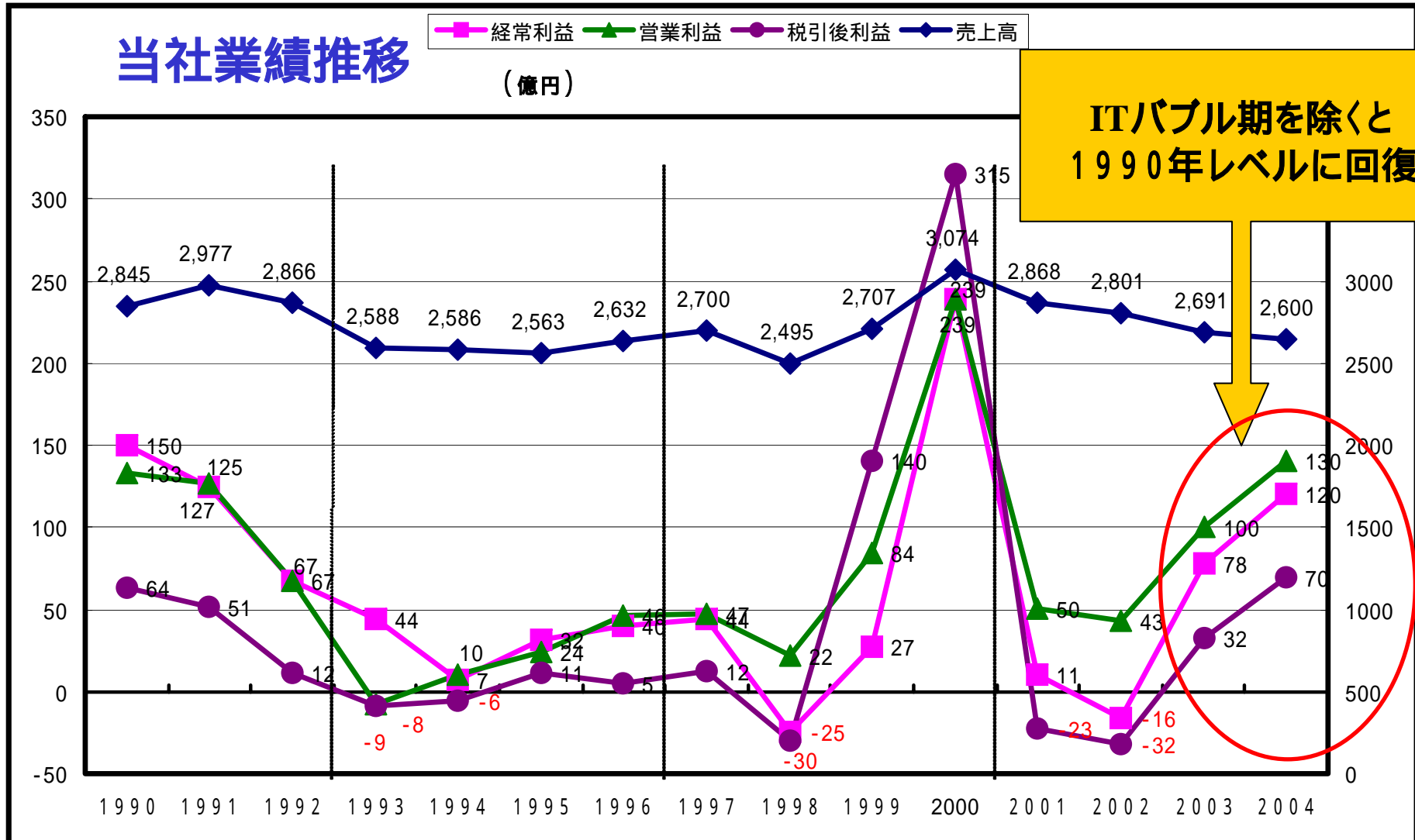
ご説明の内容

1. 現中期計画「ACT21」振り返り
2. 新中期計画「CCP300」の概要
3. 各セグメント別戦略

1. 現中期計画「ACT21」振り返り



1. 現中期計画「ACT21」振り返り



1. 現中期計画「ACT21」振り返り



「ACT21 2nd Stage」での 構造改革への取り組み方針

1. 成熟事業の安定収益化
2. 成長事業の拡大
3. 不採算事業からの撤退
4. コア事業への集中
5. 研究開発の充実とニュービジネスの創設
6. 海外事業の再検討
7. 経営基本事項の徹底
8. 資産の有効活用
9. コーポレートガバナンスの推進
10. 風土改革

1. 現中期計画「ACT21」振り返り

ACT21期間での主な具体的施策

NSG
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd.

(成長)

- ・液晶ガラス拡大
- ・プリンター用レンズ拡大
- ・メタシャイン新用途拡大

(成長への布石)

- ・東南アジア事業拡大決定
- ・自動車、中国展開検討
- ・PDP用ガラス開発
- ・SLED共同開発

(収益改善、選択と集中、コア事業)

- ・光通信リストラ(固定費大幅削減)
- ・建築: 不採算ライン停止、拠点集約他
- ・自動車: 愛知工場閉鎖、抜本的CD
- ・イソライト売却、日本ペルノックス売却他

(不採算事業撤退)

- ・長繊維事業
- ・磁気ディスク事業
- ・天津フロート

2. 新中期計画「CCP300」の概要



2005～2007年 新中期計画



2. 新中期計画「CCP300」の概要



長期目標の中での位置づけ

中期計画は“New Vision”達成へのマイルストーン。

リストラによる収益改善に目処。
 今後は、成長商品による成長軌道へ。

New Vision 2010年の姿
 - 勝ち組に生き残るために -

売上規模 5000億円
 経常利益 500億円
 ROA, ROE 10%以上

2008- 2010

2005- 2007
 新中期計画
 「CCP300」

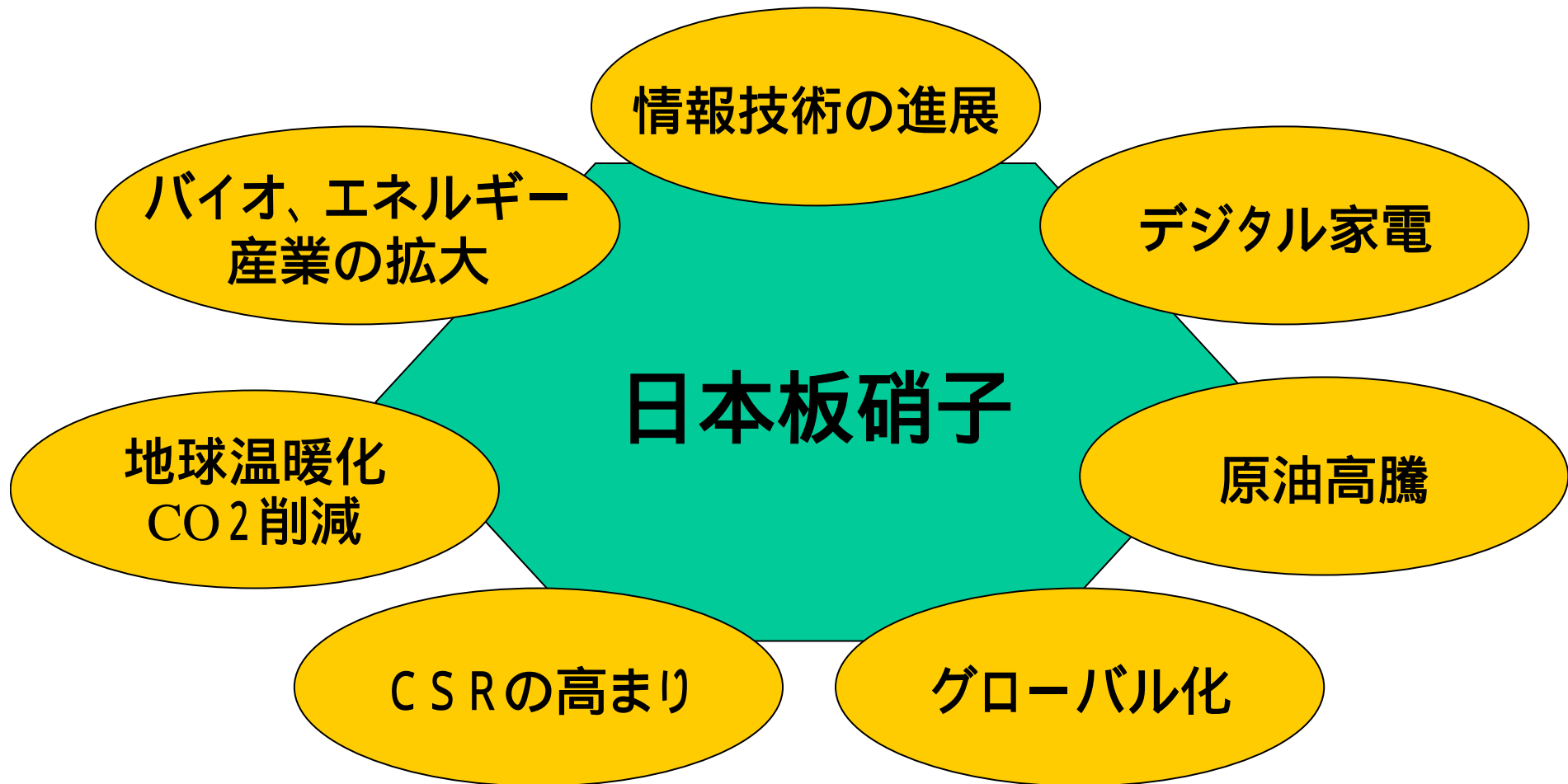
2001- 2004
 ACT21

1st Stage 2001-2002	2nd Stage 2003-2004
------------------------	------------------------

「CCP300」とは？
 行動指針 「挑戦、 勇気、 情熱」
Challenge , Courage , Passion
 売上高300billion¥を目指す。

2. 新中期計画「CCP300」の概要

当社を取り巻く経営環境



2. 新中期計画「CCP300」の概要



目指す方向

New Vision

- ・先進性があり、かつ**グローバル**で**存在感ある企業**
- ・グループとしての**企業価値の向上**
(株主価値、顧客価値、従業員価値・・・**すべてのステークホルダーに**)

CCP300

- ・既存事業の再強化
- ・独自の技術・新商品・新分野の育成

拡大成長を目指す“New Vision” 路線への完全回帰

2. 新中期計画「CCP300」の概要



新中期計画の土台となる取り組み

製造・開発・販売の現場を重視した、ものづくりに強い会社

匠の技によるつくりこみ、品質向上
先端技術へのあくなき挑戦

- ・資源配分の製造現場への重点化(短期集中)
- ・骨太の技術者の育成・基盤技術の構築・技術技能の伝承

行動指針

「挑戦、 勇気、 情熱」

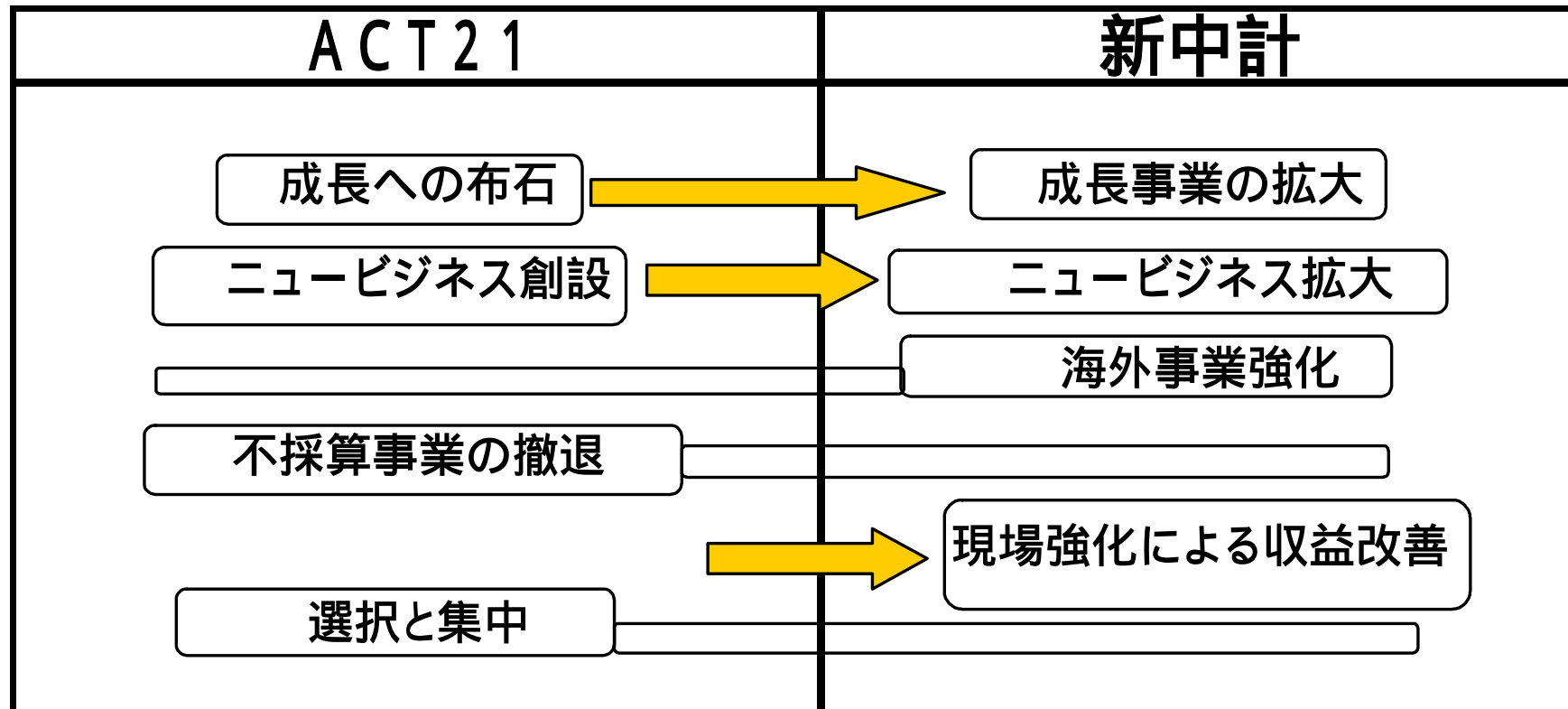
Challenge , Courage , Passion

CCP300

2. 新中期計画「CCP300」の概要



重点課題のシフト



2. 新中期計画「CCP300」の概要



基本戦略

徹底したコストダウン、効率化による安定した収益体制の構築

成長分野への資源の重点配分

高収益・高効率を実現

板ガラス(建築・自動車)分野

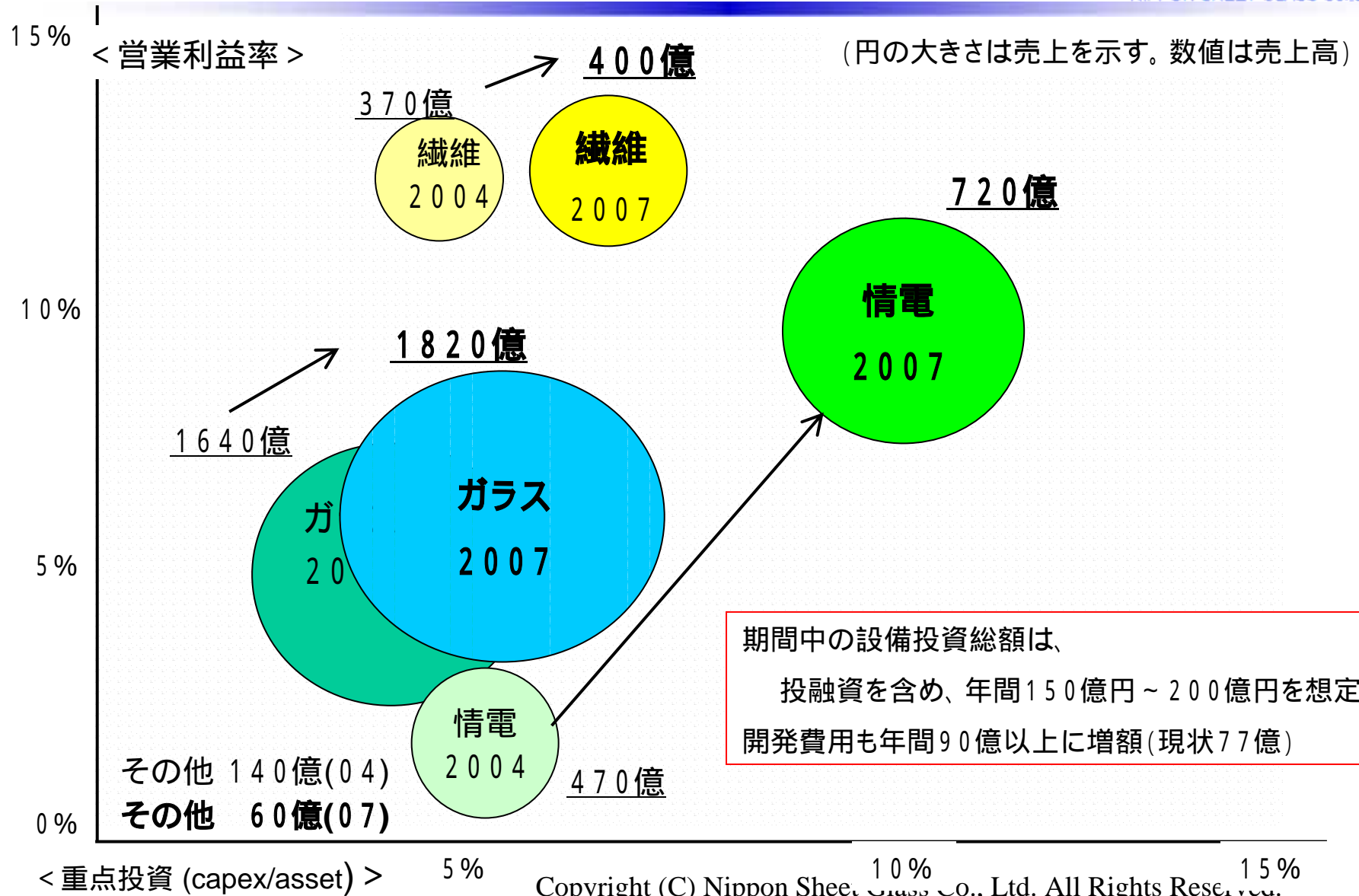
新規分野

情報電子分野

硝子繊維分野

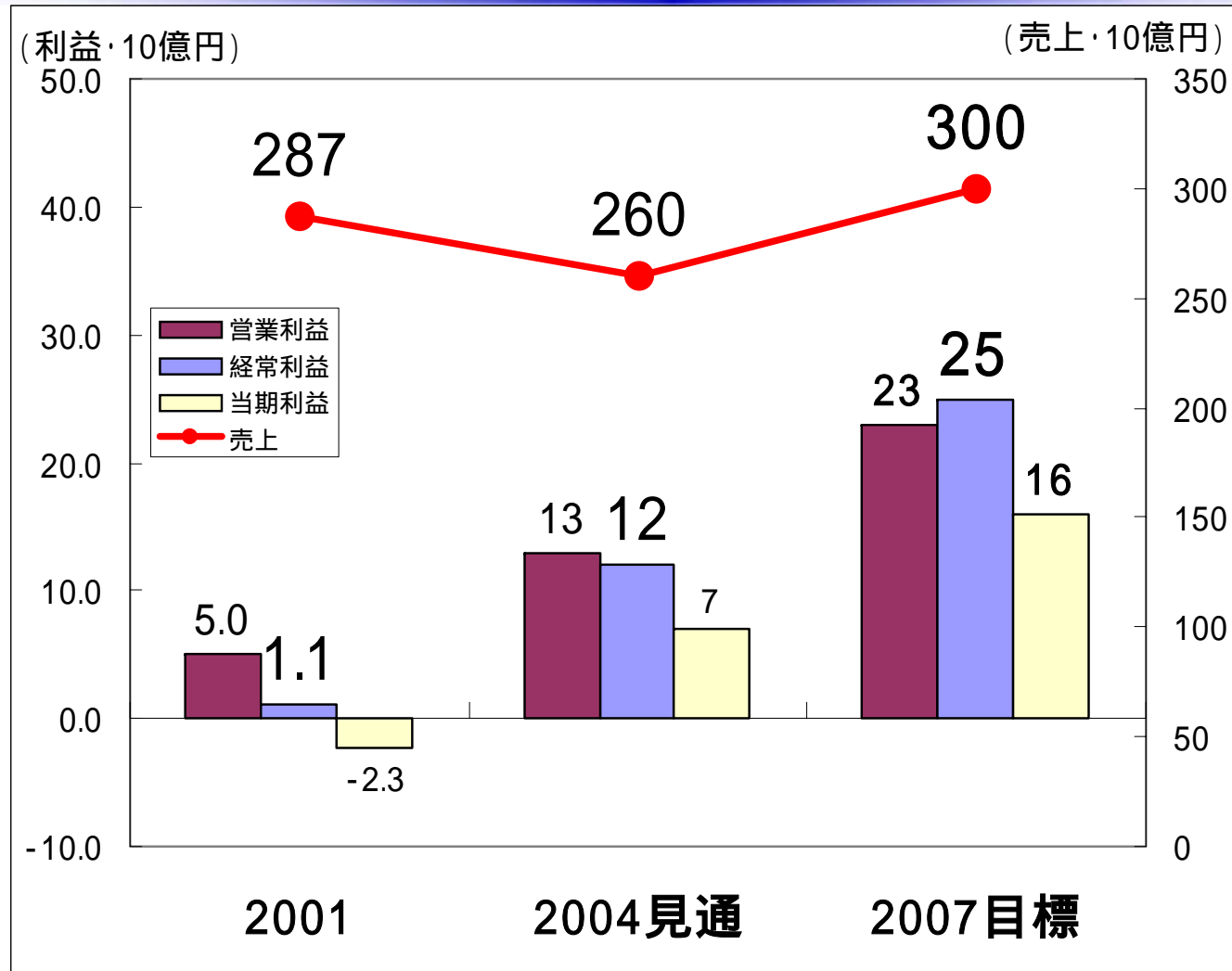
2. 新中期計画「CCP300」の概要

事業別ポートフォリオイメージ



2. 新中期計画「CCP300」の概要

業績目標

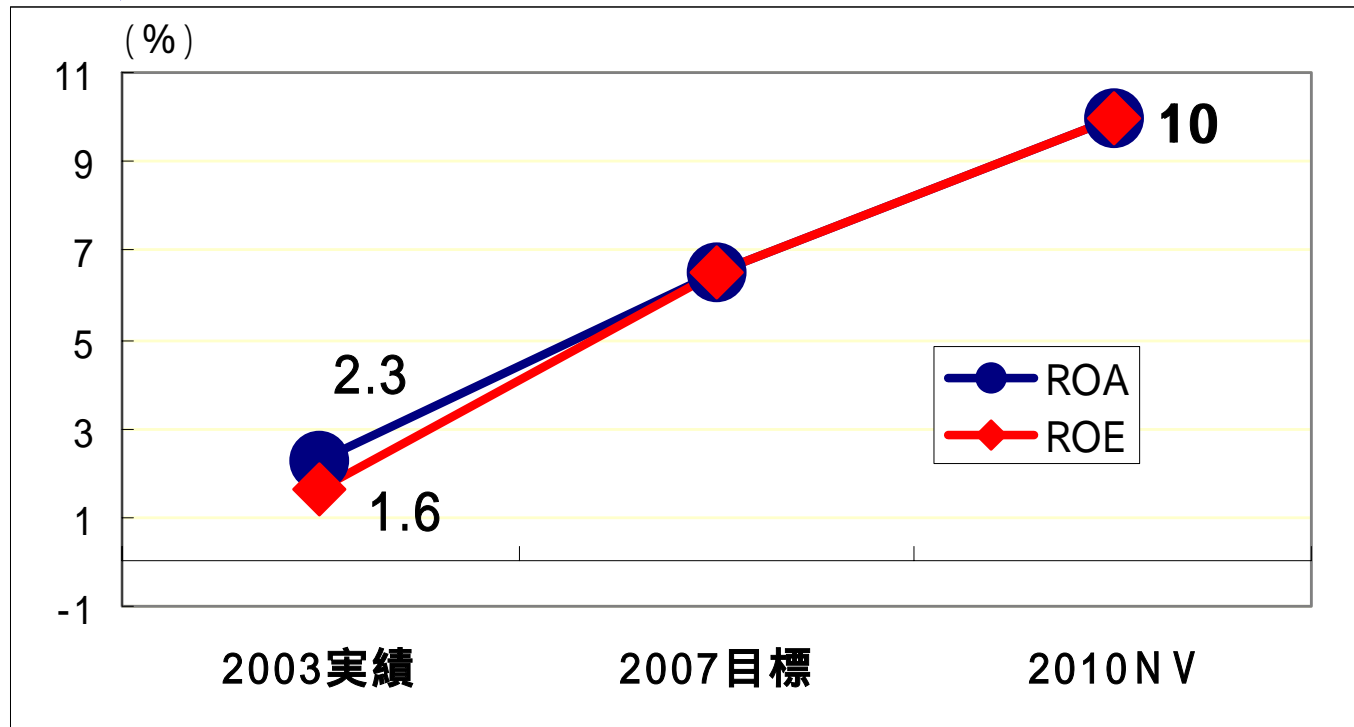


2. 新中期計画「CCP300」の概要

業績目標



ROA、ROE改善イメージ



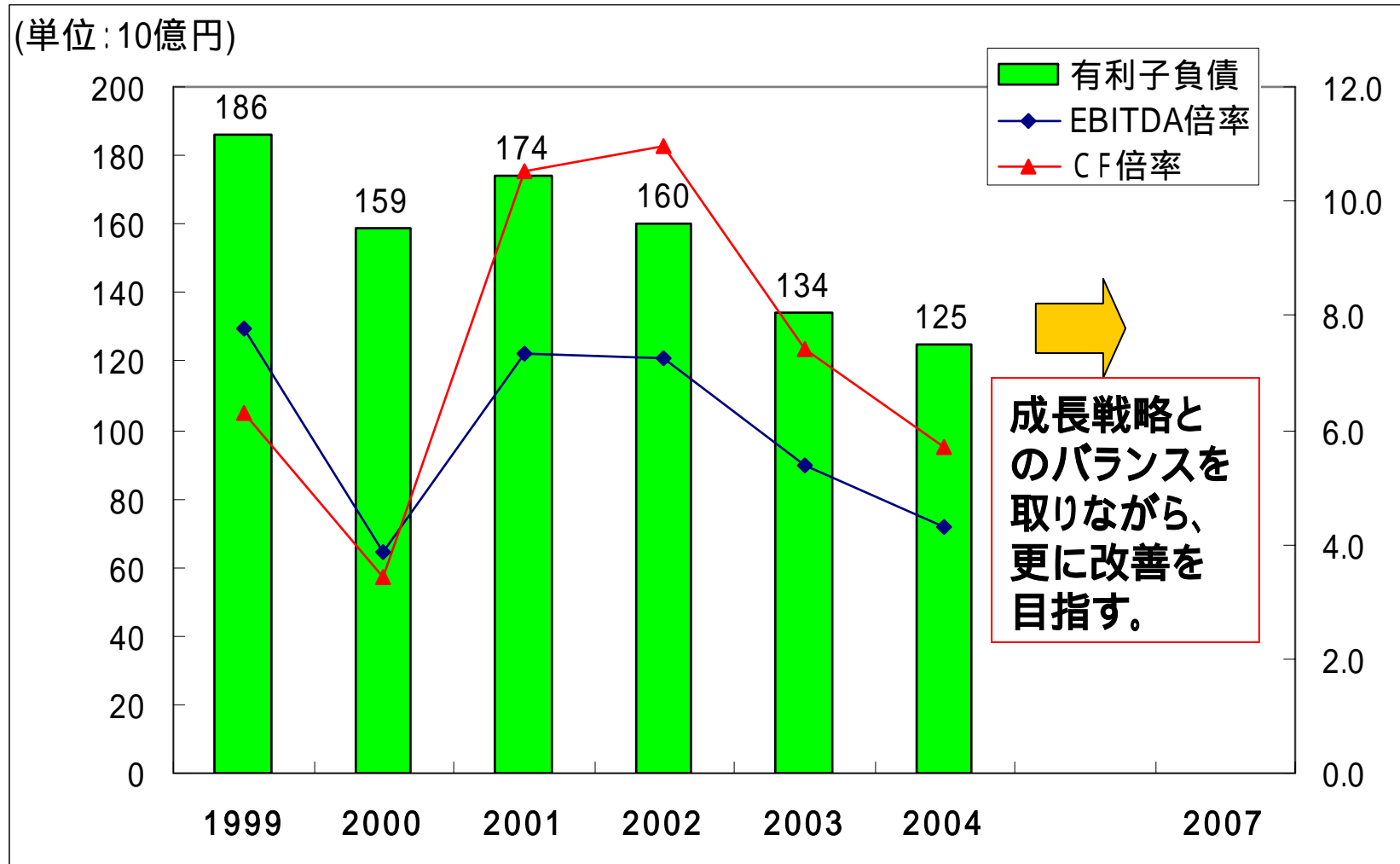
New Vision(2010年)に10%を達成するための道筋として
ROA、ROEとも、6~7%をめざす。

注：ROA = (経常利益 + 支払利息) / 総資産

ROE = 当期利益 / 株主資本

2. 新中期計画「CCP300」の概要

有利子負債について

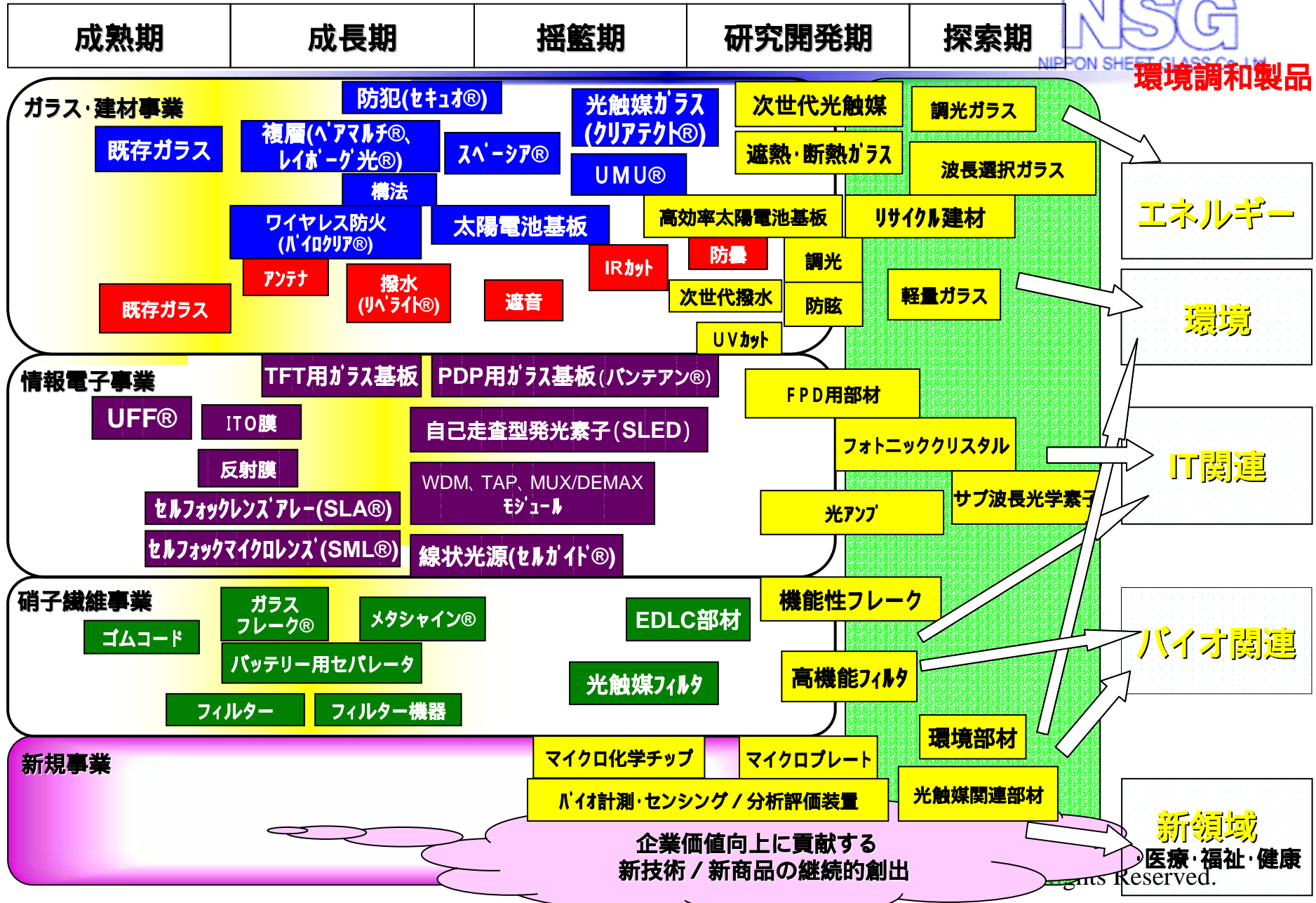


EBITDA = 営業利益 + 減価償却費
CF = 当期利益 + 減価償却費 で算出

商品ステージと研究開発の方向性



環境調和製品



3 . 各セグメント別戦略

日本板硝子株式会社

板ガラス分野

NSG
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd



建築用ガラス
(硝子建材事業)

建築用ガラス、建材

自動車用ガラス
(輸送機材事業)

自動車用ガラス
各種車両用ガラス

板ガラス分野

「CCP300」事業別基本方針



< 建築用ガラス >

- ・国内 機能ガラス 1の地位確立
断熱・防犯・リフォーム等成長分野で拡大
- ・アジア 1. 利益極大化のためのグループシナジーの活用
2. ベトナム、マレーシアでの 1を維持

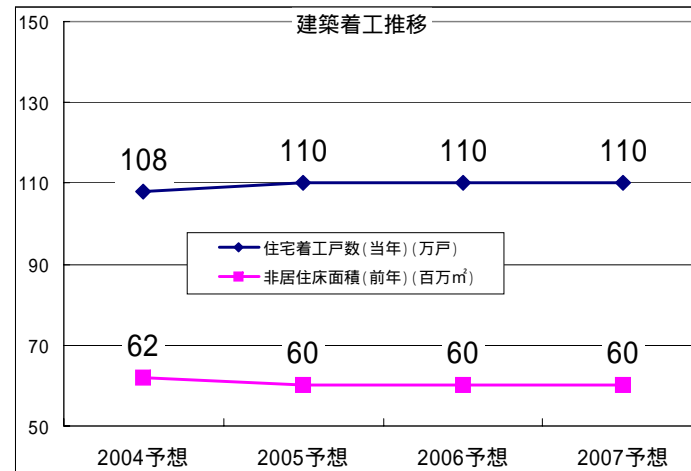
< 自動車用ガラス >

- ・高付加価値品の拡大と、生産革新によるコスト改善
- ・ピルキントンとのシナジーの最大化

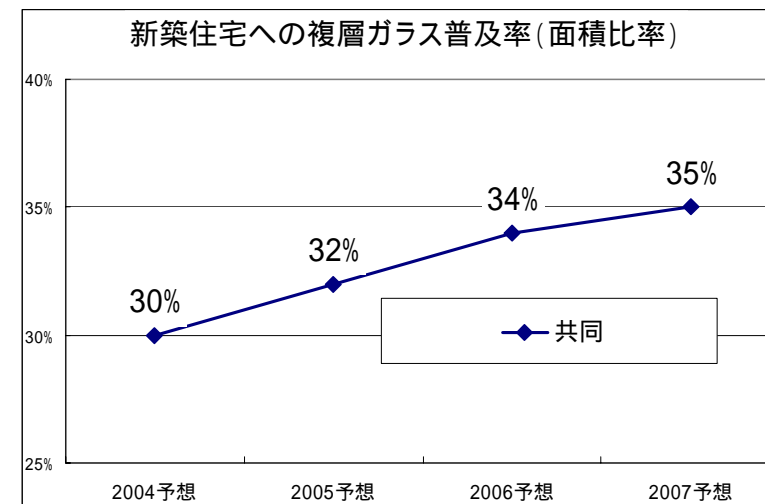
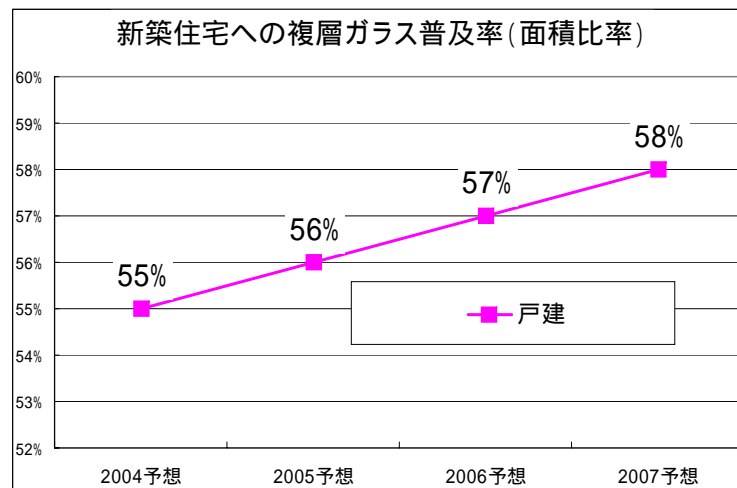
板ガラス分野 < 建築用ガラス >

NSG
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd

事業環境



着工指標は
中期的にほぼ横ばい



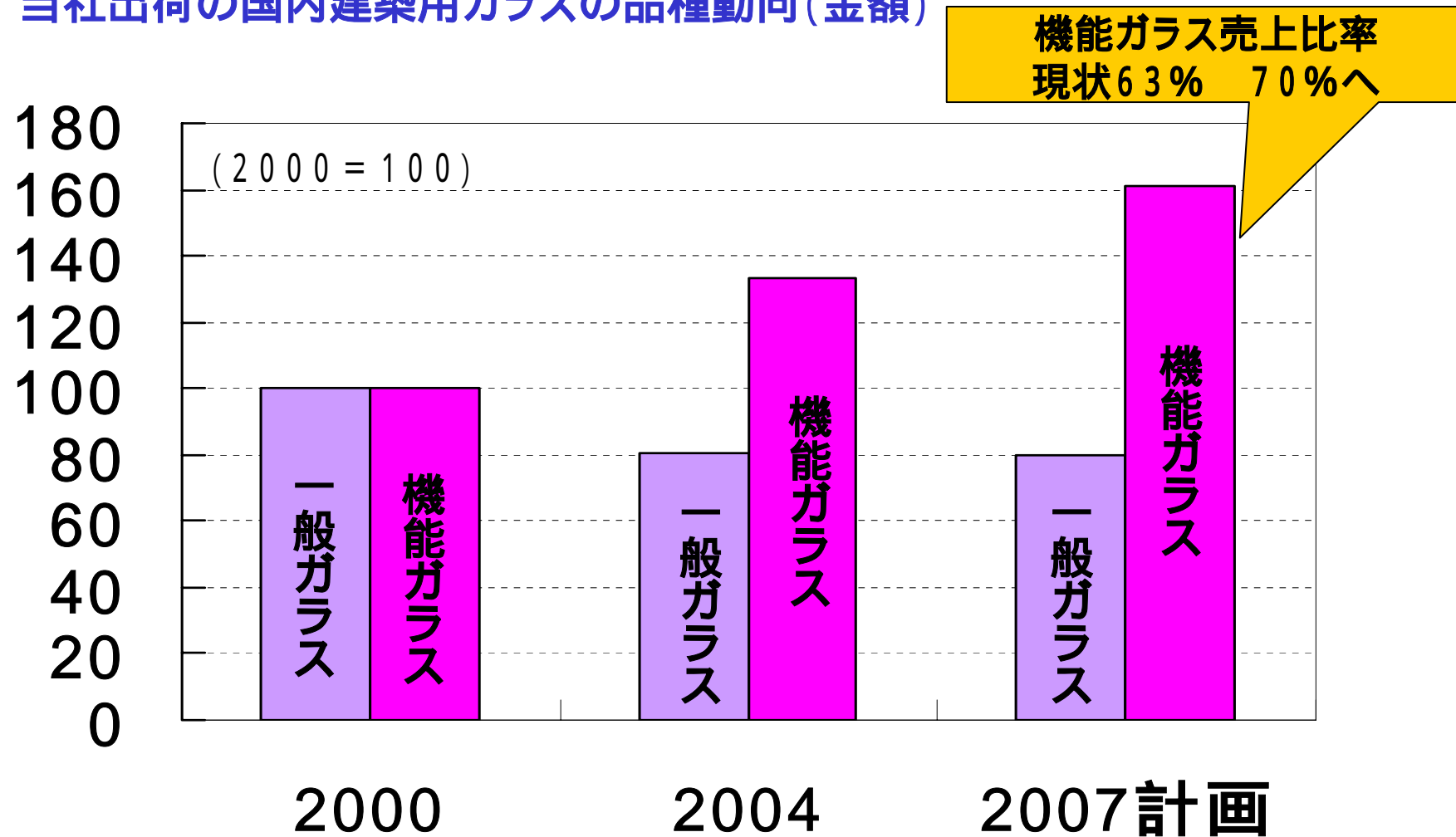
・戸建、共同住宅とも複層普及率は堅調な伸びを予想。

板ガラス分野

< 建築用ガラス >



当社出荷の国内建築用ガラスの品種動向(金額)

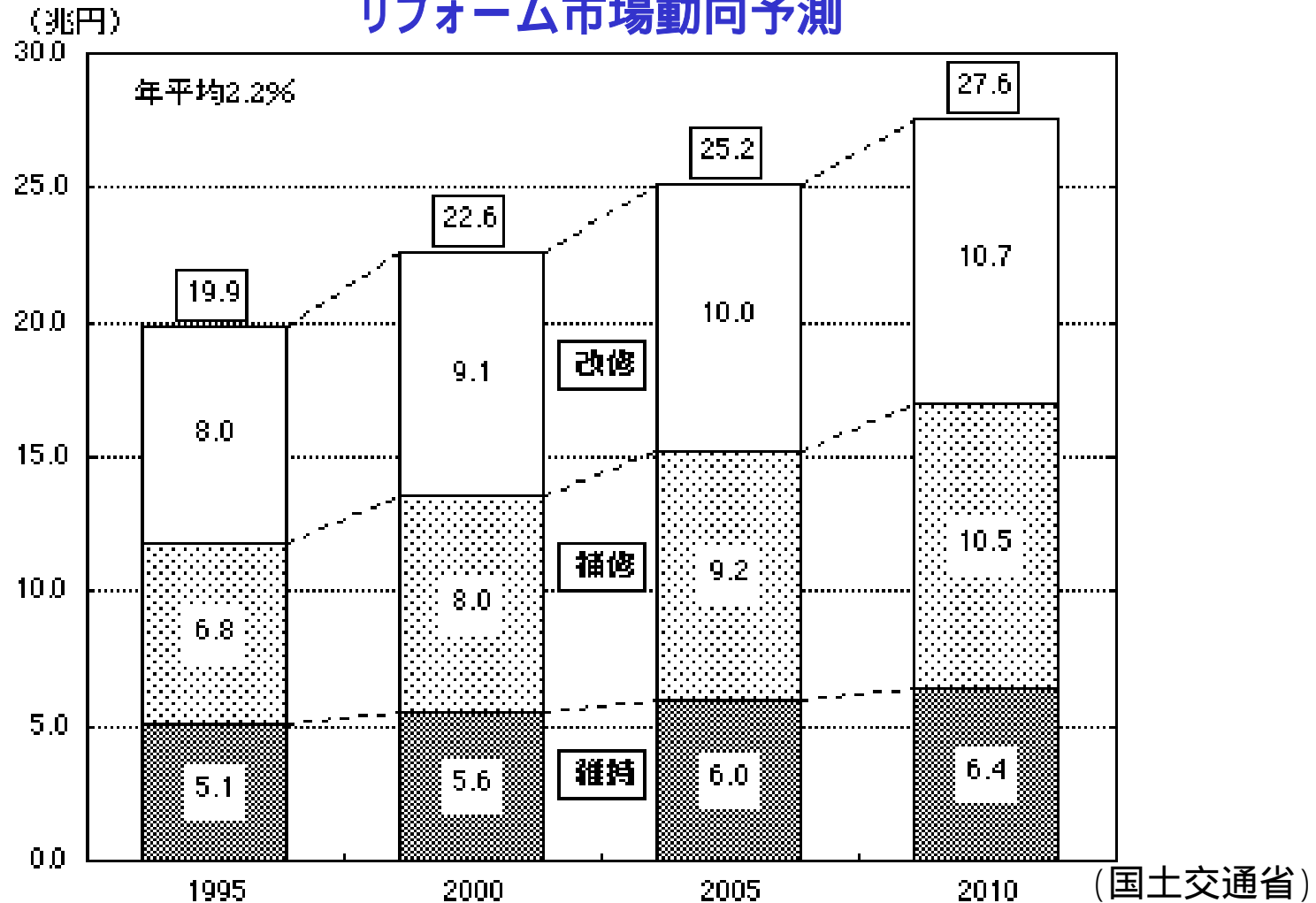


板ガラス分野 < 建築用ガラス >



事業環境

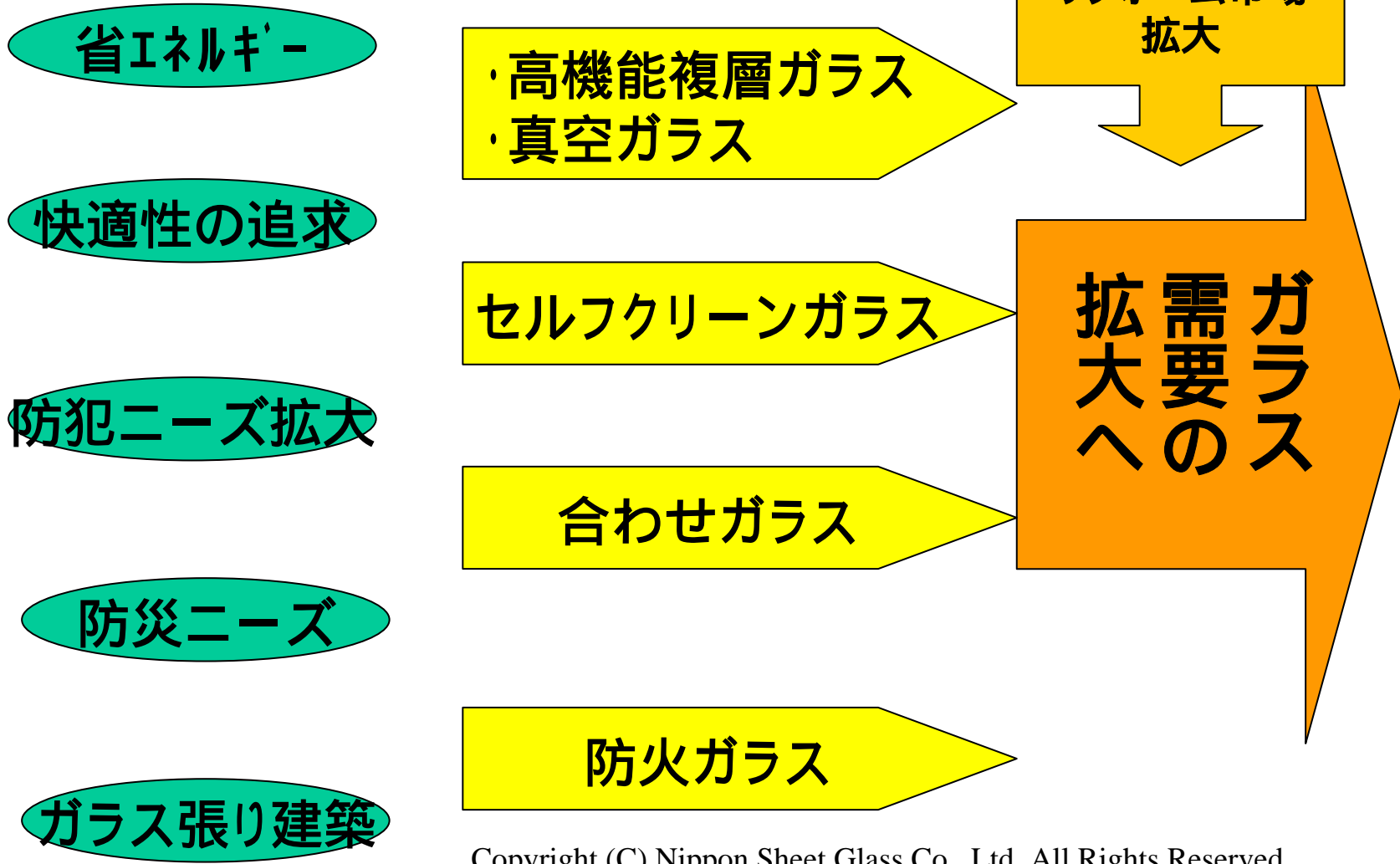
リフォーム市場動向予測



板ガラス分野 < 建築用ガラス >



建築用ガラスに対する社会のニーズ



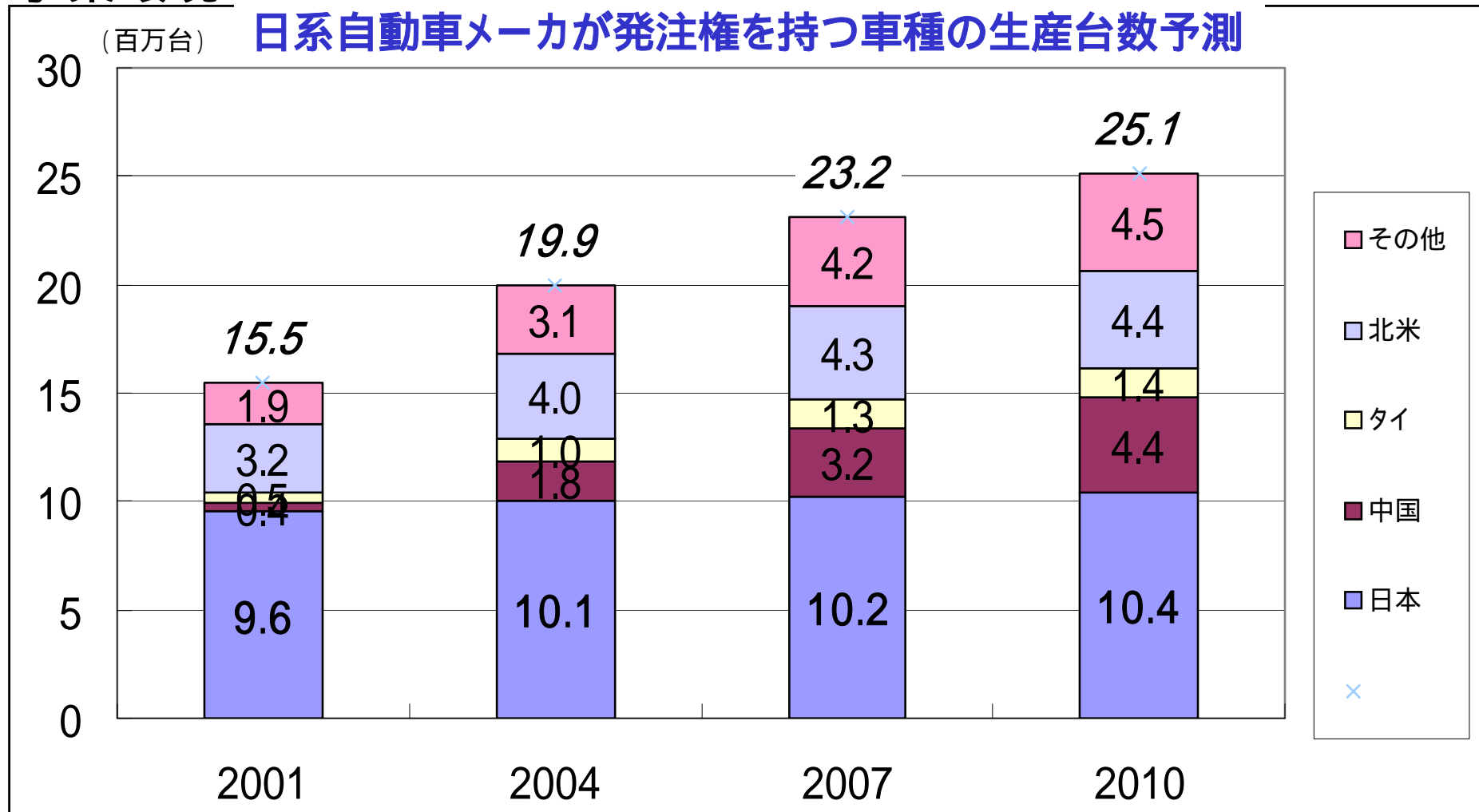
板ガラス分野

< 自動車用ガラス >

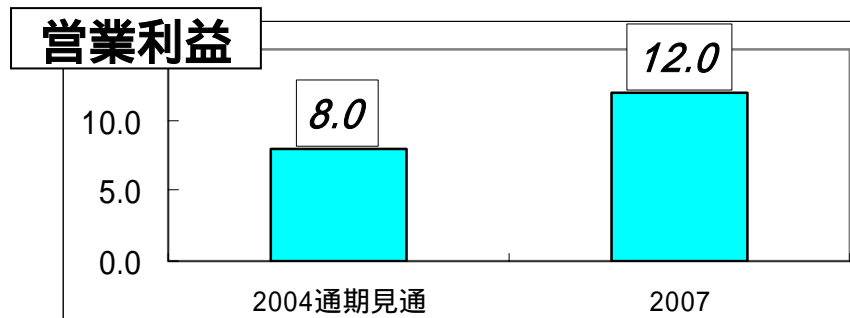
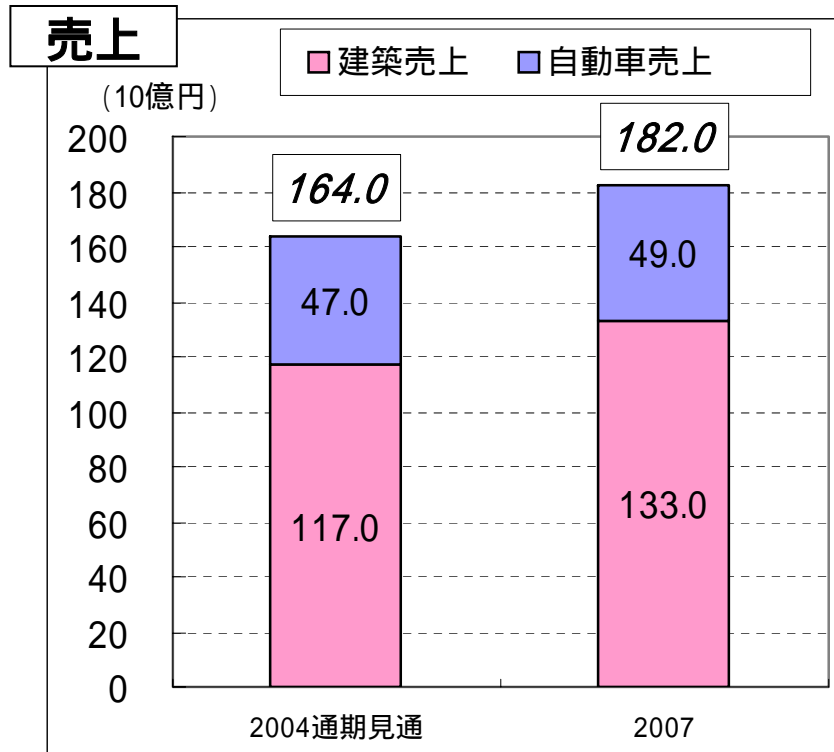


事業環境

日系自動車メーカーが発注権を持つ車種の生産台数予測



板ガラス分野 「CCP300」拡大イメージ



< 建築用ガラス >

国内

- ・機能ガラス拡大、複合機能化
- ・太陽電池基板拡大

海外

- ・アジアでの窯増設
 ~ マレーシア 05年 休止窯再稼動、
 ベトナム 07年 新窯稼動
 国内での活用を視野

< 自動車用ガラス >

- ・設備更新による生産性向上
- ・中国市場への参入
 (数値目標は未織込み)

板ガラス分野 トピックス



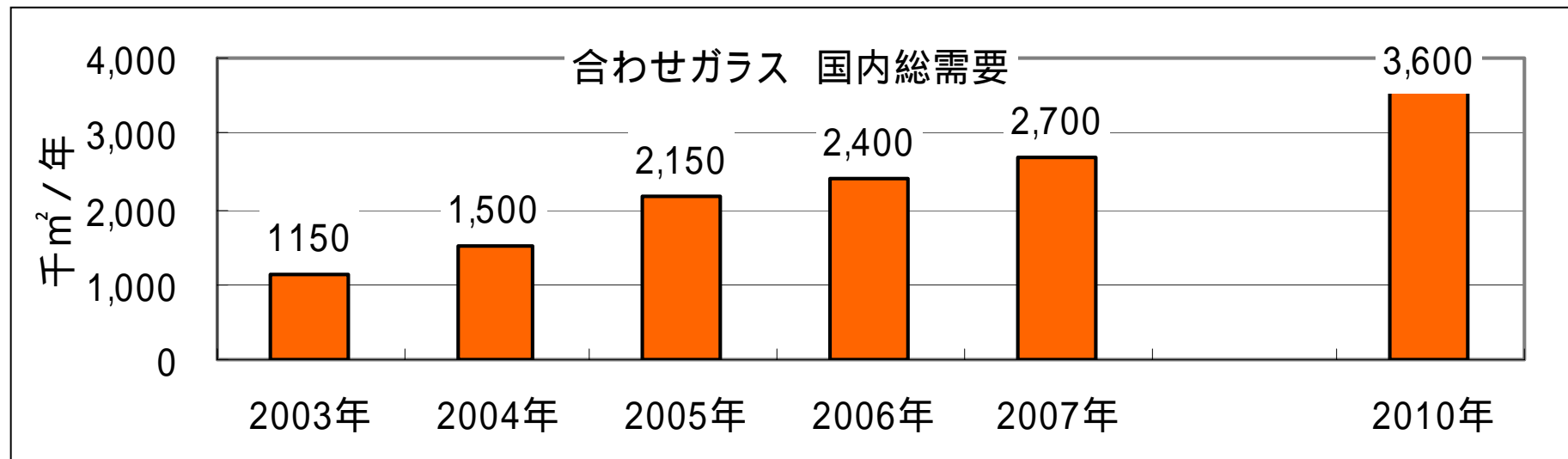
< 建築用合わせ設備増強 >

2005年度上期中に実施予定。

投資額 約13億円

+ 700千 m^2 /年

能力1400千 m^2 に。

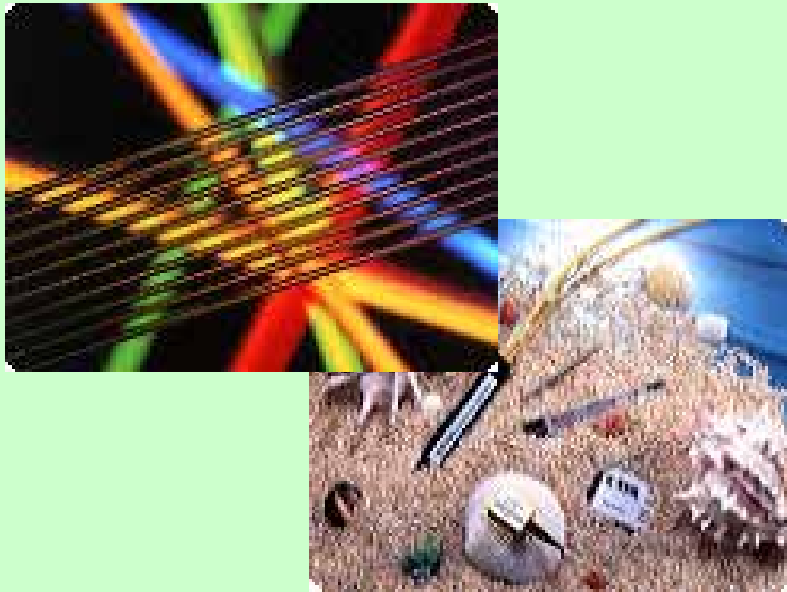


情報電子分野

NSG
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd

情報通信デバイス

SLA、SLED、化学強化ガラス他
OA機器用部品
セルフロックマイクロレンズ、
各種通信用デバイスなど



ディスプレイ

液晶用基板、PDP基板など



情報電子分野 「CCP300」基本方針



< 情報通信デバイス >

情報デバイス レンズ・光源でドキュメント市場を
制覇する。

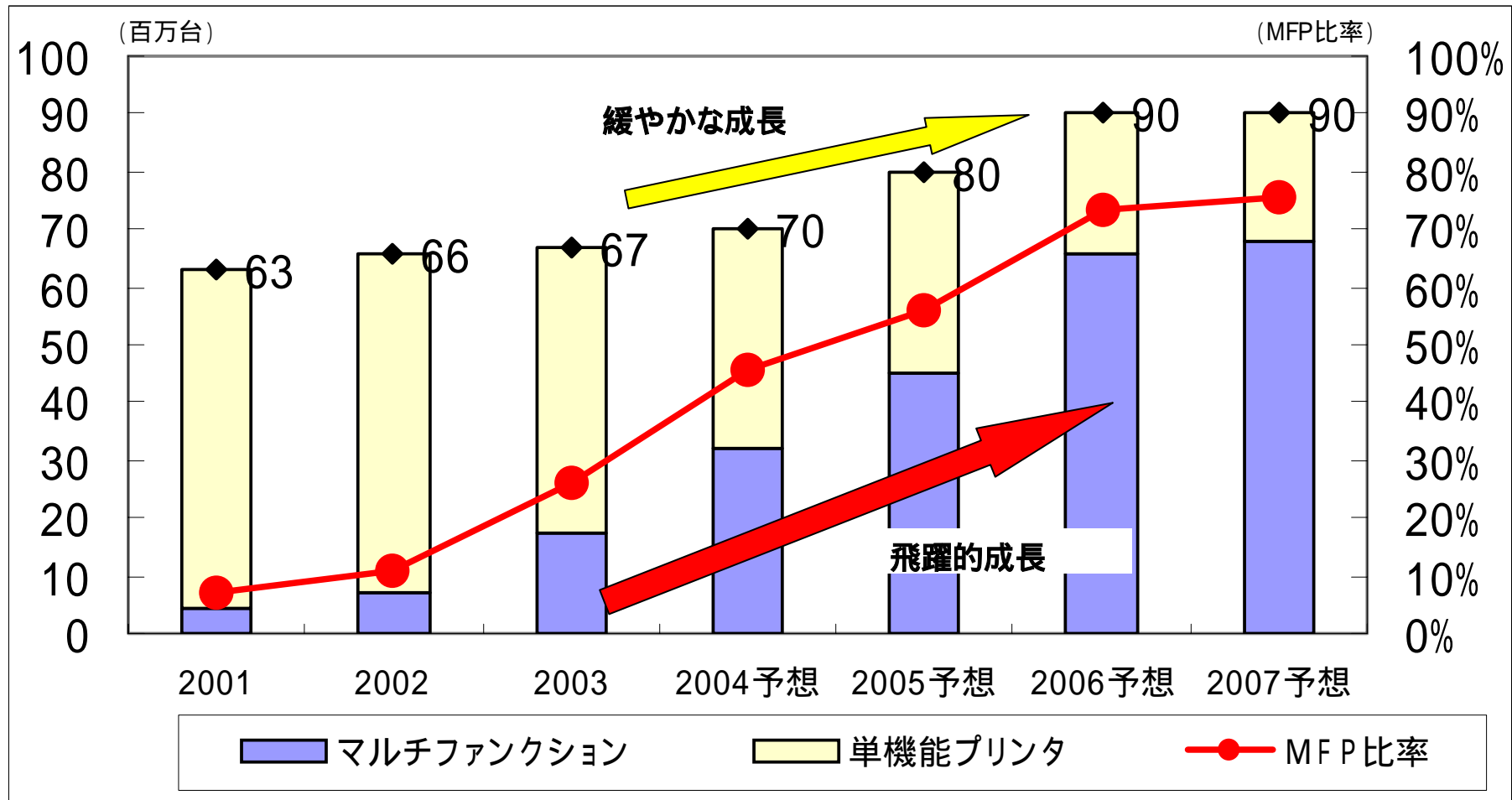
通信デバイス セルフォックの強みを活かし、
コンポーネント市場においても
キープレイヤーとなる。
(短期的には早期採算化)

情報電子分野 < 情報通信デバイス >



事業環境

インクジェットプリンタ市場予測



情報電子分野 「CCP300」トピック



SLA増産について

05年春 月産300万個 500万個体制へ
投資額: 15億円

<HOT工程>

四日市に SLA素線 月200万個能力の設備導入

<COLD工程>

中国の組立て能力 月100万個の能力向上。

(更なる増強は需要拡大の進捗にあわせ投資していく)

情報電子分野 「CCP300」基本方針

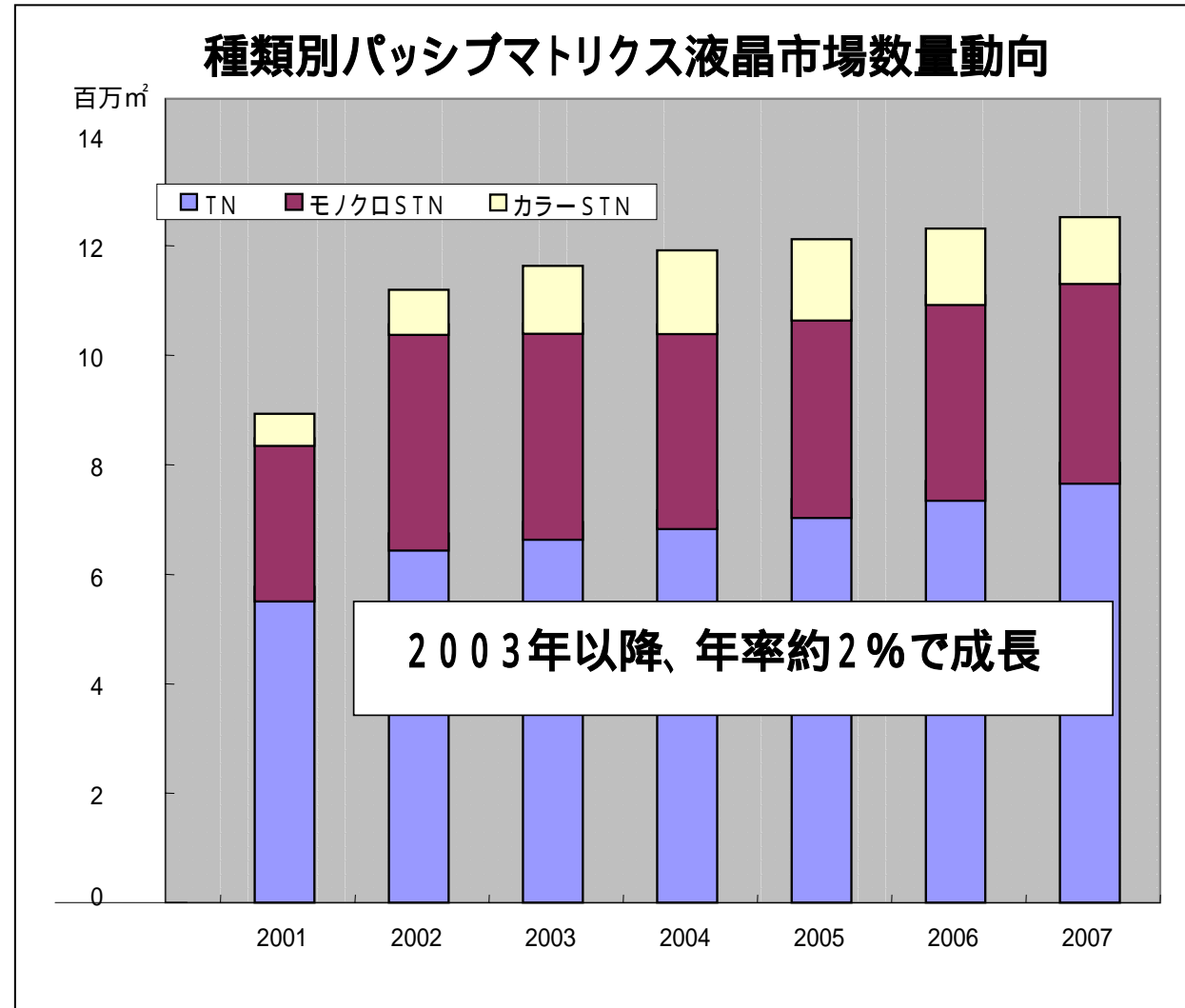


<ディスプレイ>

- ・PDP 基板ガラス参入
- ・TFT基板ガラス生産拡大
- ・アクティブ領域関連ビジネス拡大
- ・UFF 量、シェアとも向上
 - BRICS地域の携帯普及を背景にSTN基板の伸び
 - e-Book などの新しいアプリケーションの登場

情報電子分野 <ディスプレイ>

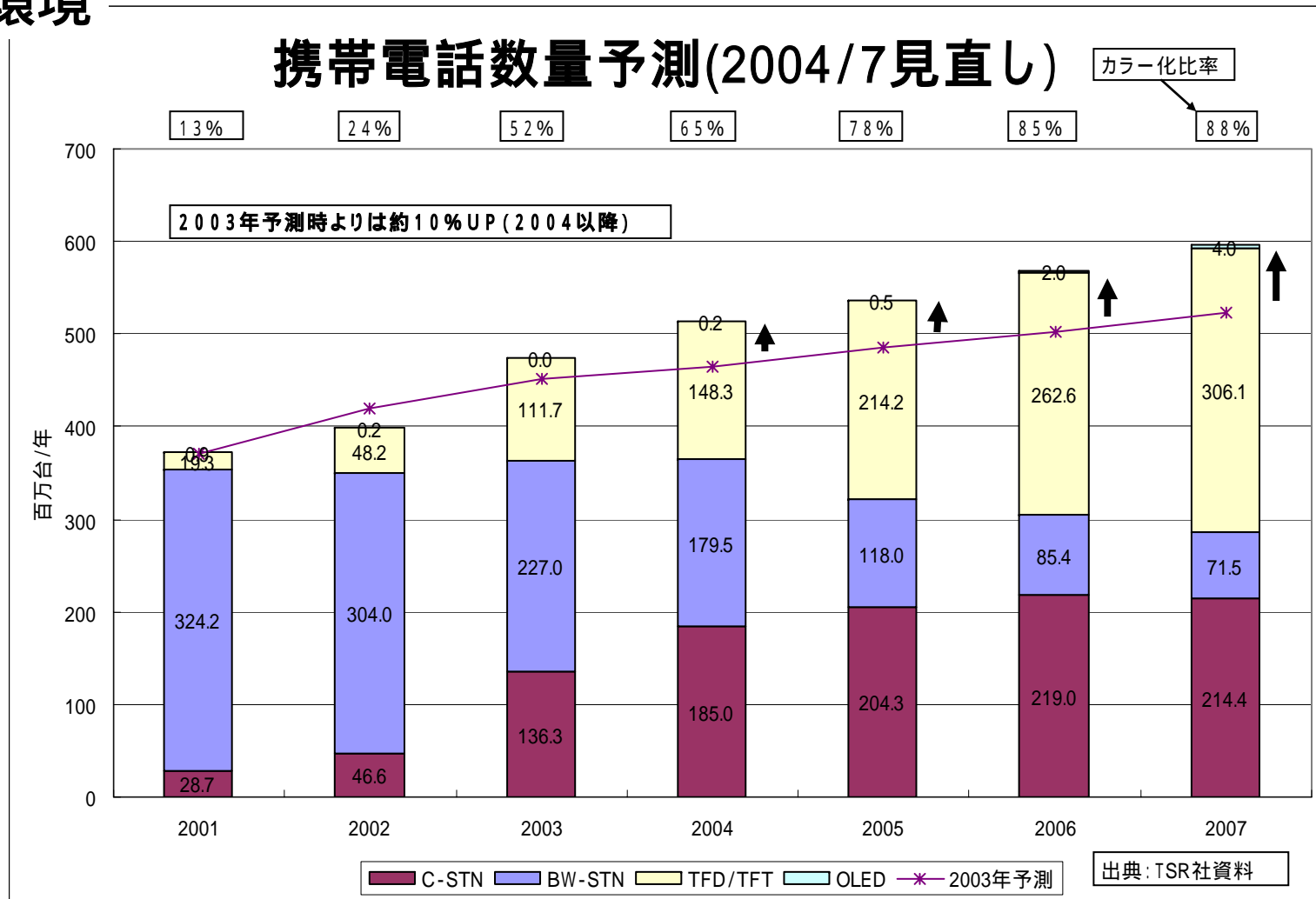
事業環境



情報電子分野 <ディスプレイ>



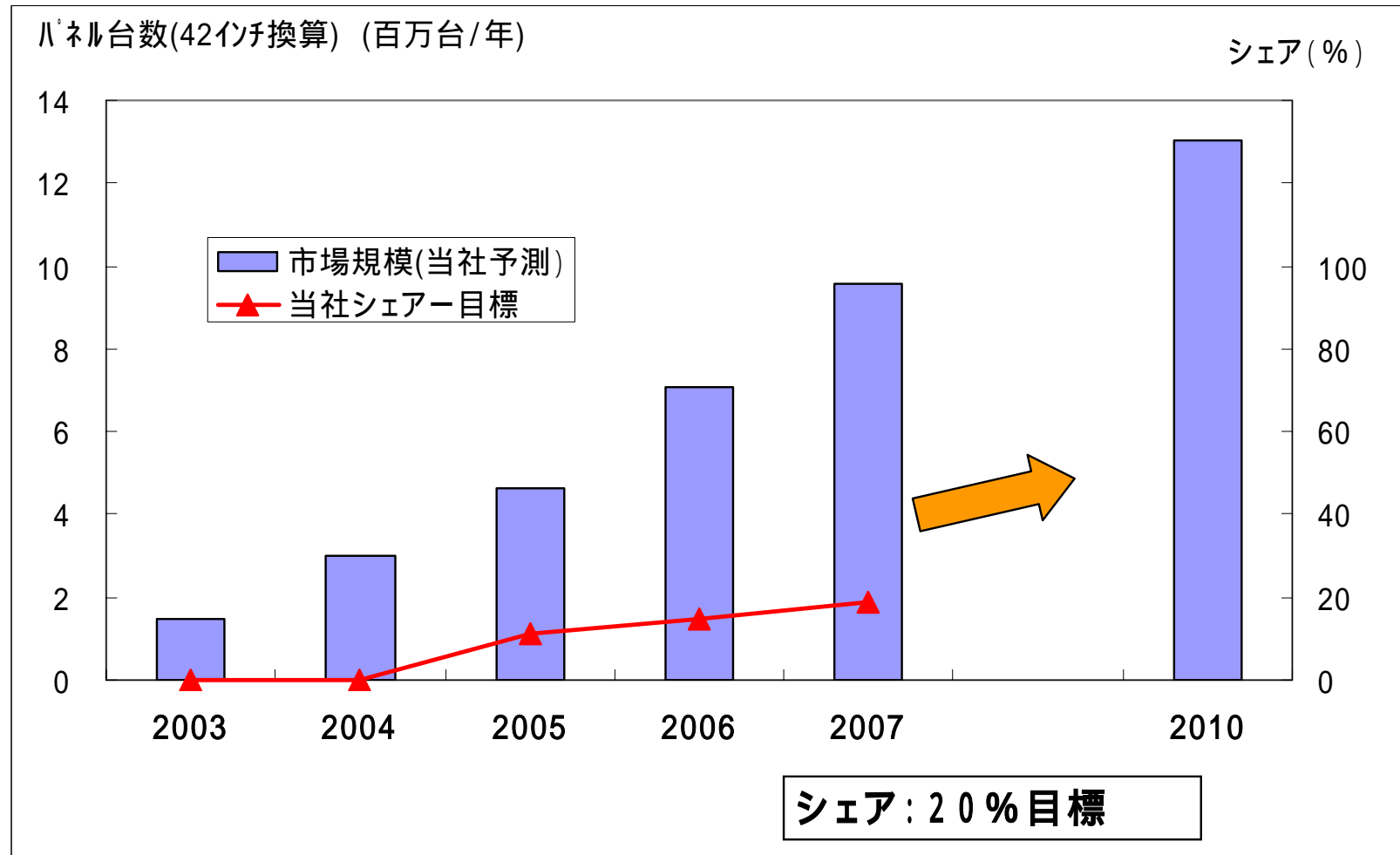
事業環境



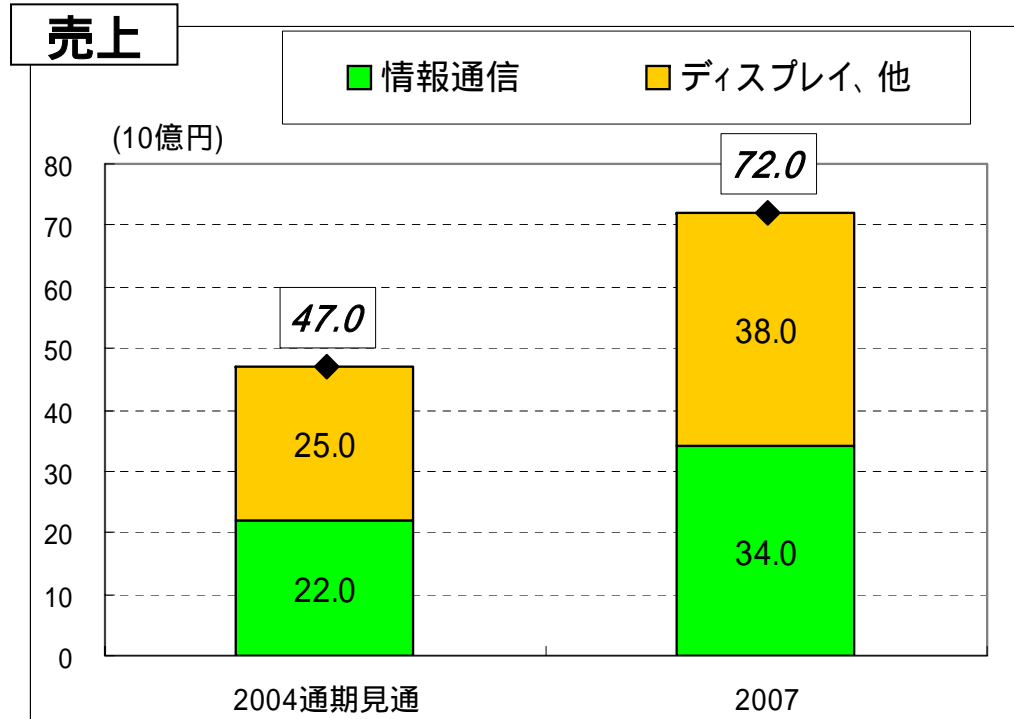
情報電子分野 ＜ディスプレイ＞



PDP市場規模と当社シェア目標



情報電子分野 「CCP300」拡大イメージ



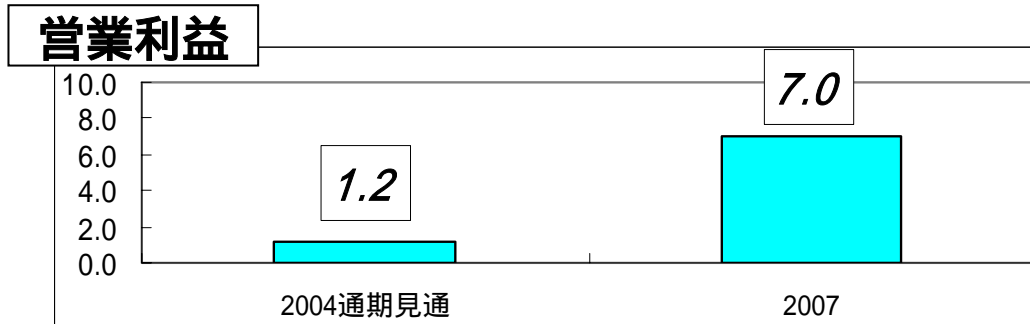
< 情報通信デバイス >

- ・MFP向けSLA増産
5百万個体制へ
- ・SLED事業立ち上がり

- ・通信コンポーネンツに注力

< ディスプレイ >

- ・PDP基板へ参入
- ・C-STNも依然伸長
- ・TFTアセンブリ増加(ナノックス)
- ・アクティブ部材分野へ注力

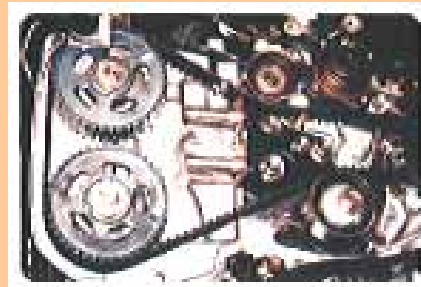


ガラス繊維分野

NSG
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd

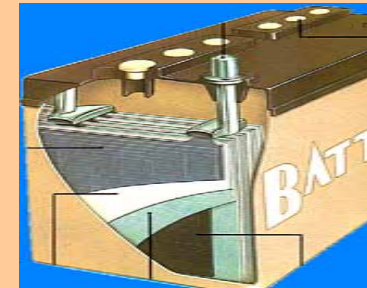
ゴムコード

自動車用タイミングベルト



バッテリーセパレータ

自動車、無停電装置などの鉛蓄電池



フレイク他

耐食、プラスチック強化材
光輝性顔料素材



フィルター

クリーンルーム用など

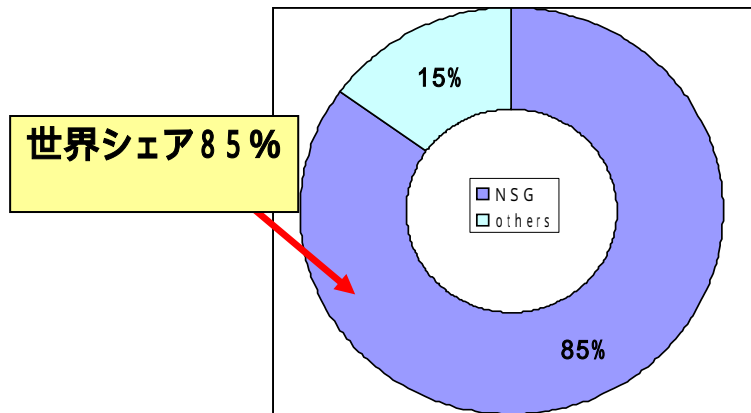


ガラス繊維分野

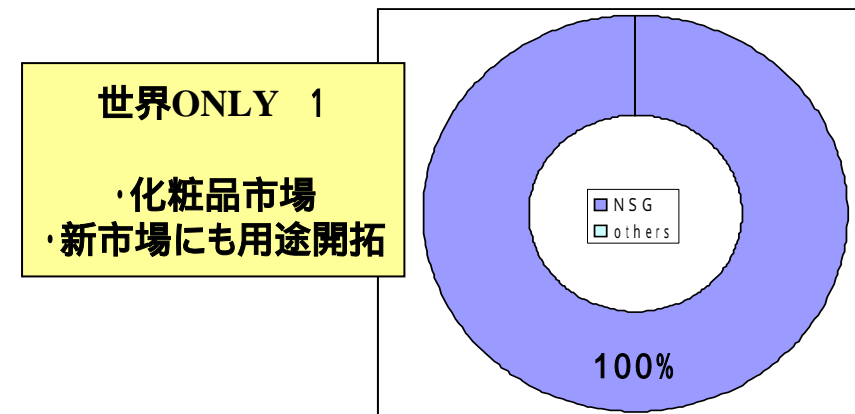
事業環境、及び基本方針



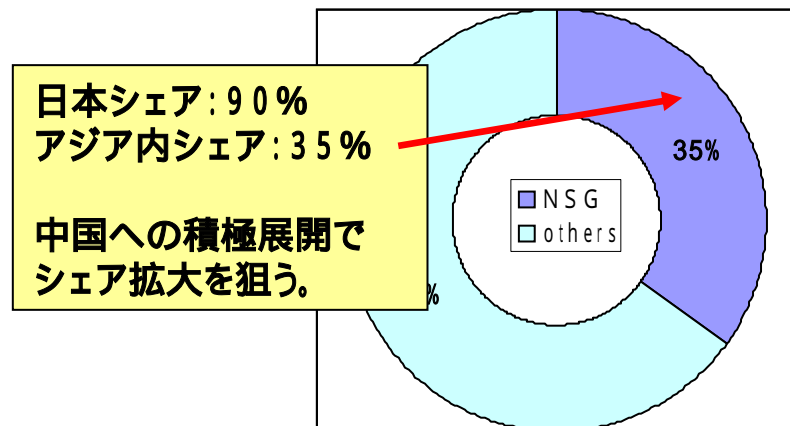
・ ゴムコード



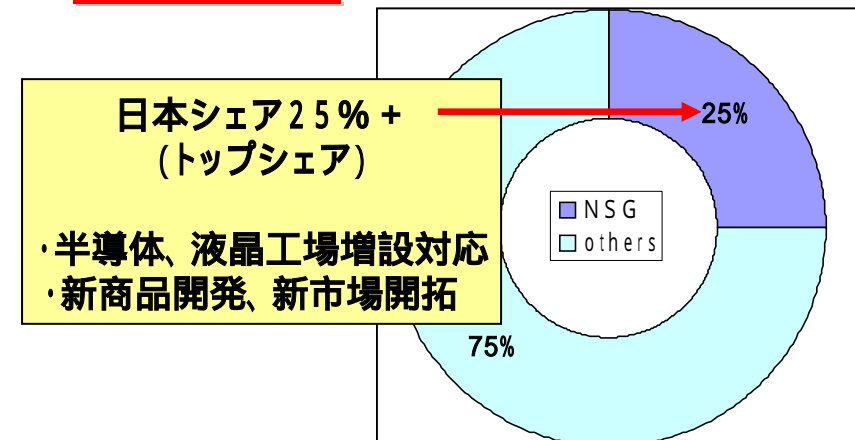
・ フレーク、メタシャイン



・ バッテリー用セパレータ



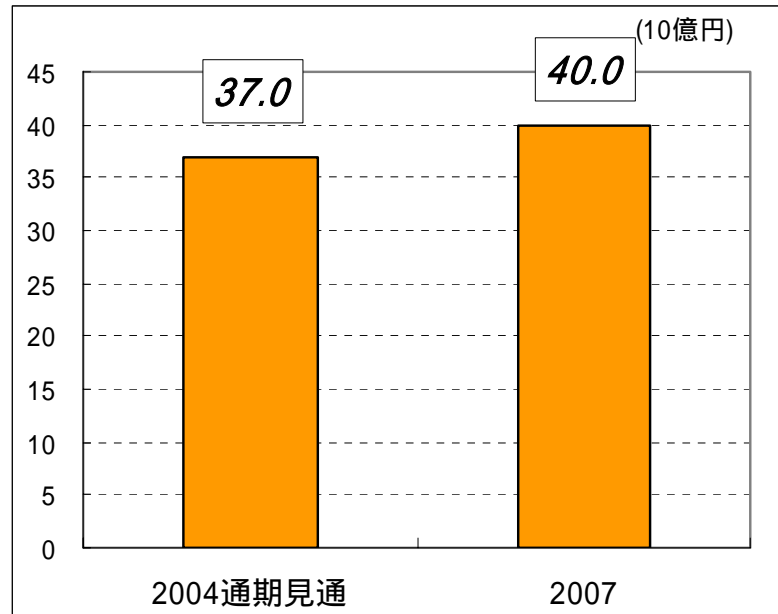
・ フィルター



ガラス繊維分野 「CCP300」拡大イメージ



売上



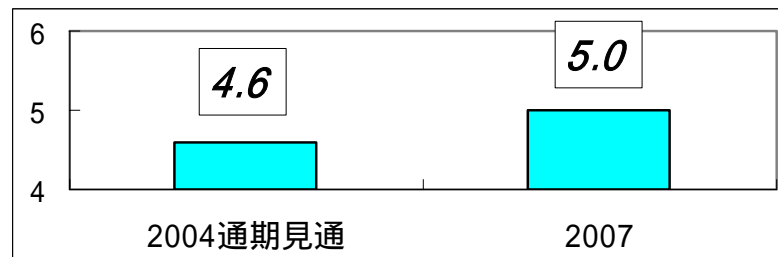
<ゴムコード>
自動車生産増が寄与。

<バッテリーセパレータ>
アジアでのシェアUP

<フィルタ>
医療分野他への展開

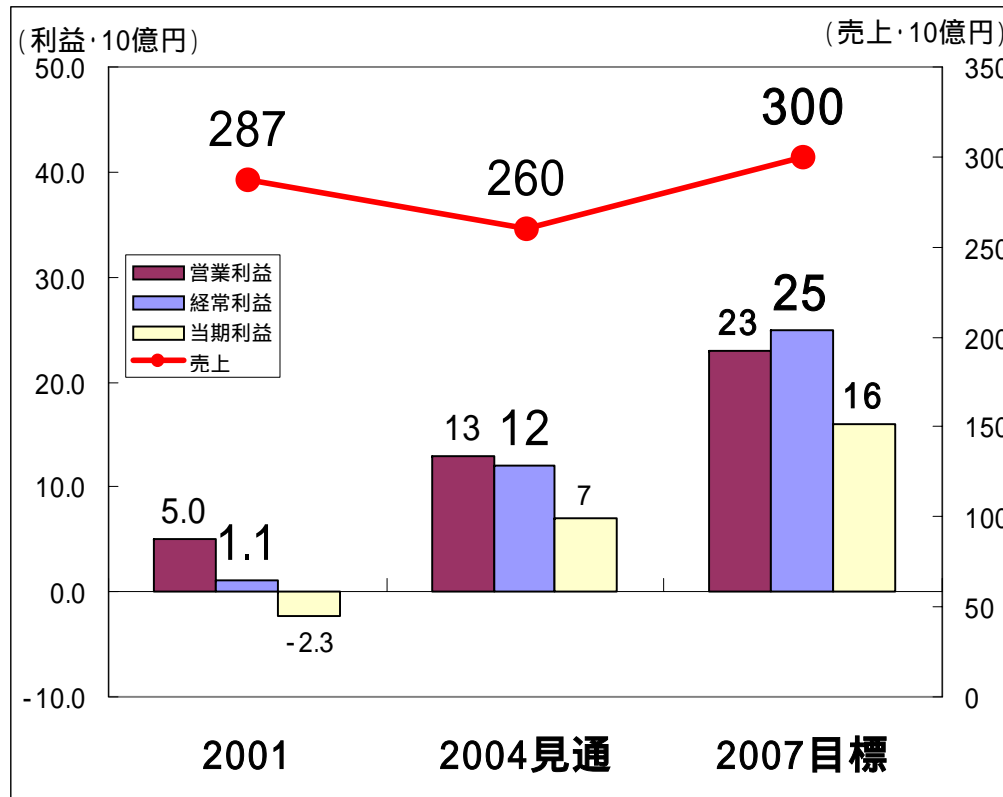
<フレーク>
アプリケーション拡大

営業利益



新中期計画「CCP300」

業績目標まとめ



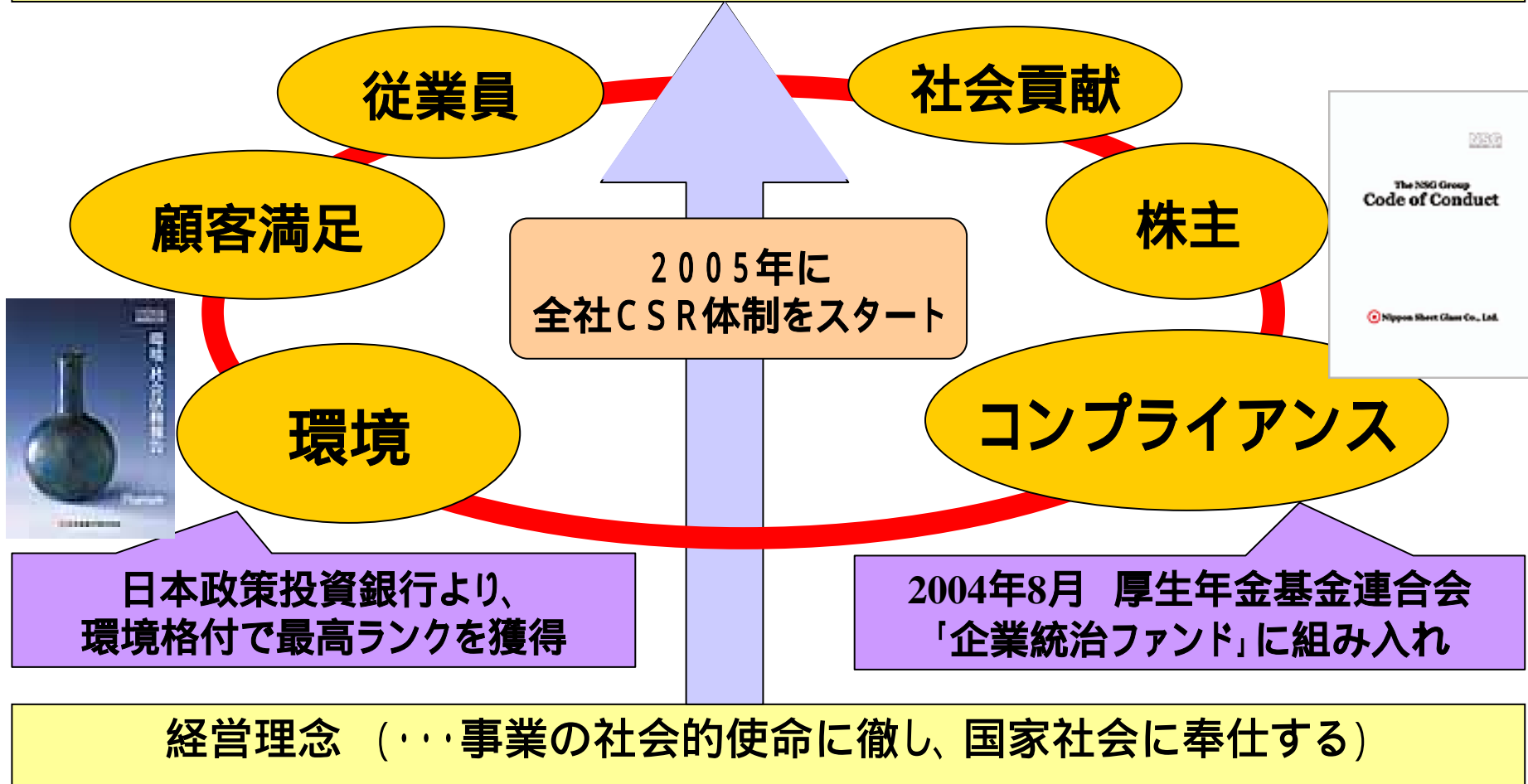
(10億円)	2004年度	2007年度
売上	260.0	300.0
板ガラス	164.0	182.0
情報電子	47.0	72.0
ガラス繊維	37.0	40.0
その他	12.0	6.0
営業利益	13.0	23.0
板ガラス	8.0	12.0
情報電子	1.2	7.0
ガラス繊維	4.6	5.0
その他	-0.8	-1.0
経常利益	12.0	25.0
当期利益	7.0	16.0

新中期計画「CCP300」

CSRへの取り組み



New Vision …グループとしての**企業価値の向上**
(株主価値、顧客価値、従業員価値…**すべてのステークホルダーに**)



ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場(日本、欧米、アジア等)の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社